

Panasonic®

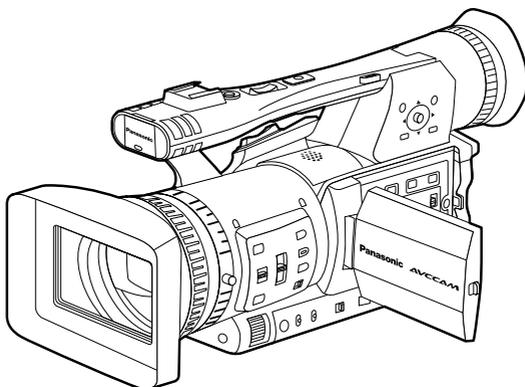
■本機は AVCCAM 3 年間無償修理特約の
対象商品です。詳しくは 111 ページを
ご覧ください。

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AG-HMC155**

AVCCAM



AVCHD



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

LEICA
DICOMAR



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～8 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

SE0808YM4120 -PS [D]
Printed in Japan

JAPANESE

VQT1V32-3

はじめに

各部の名称

準備

撮影

再生

編集

表示

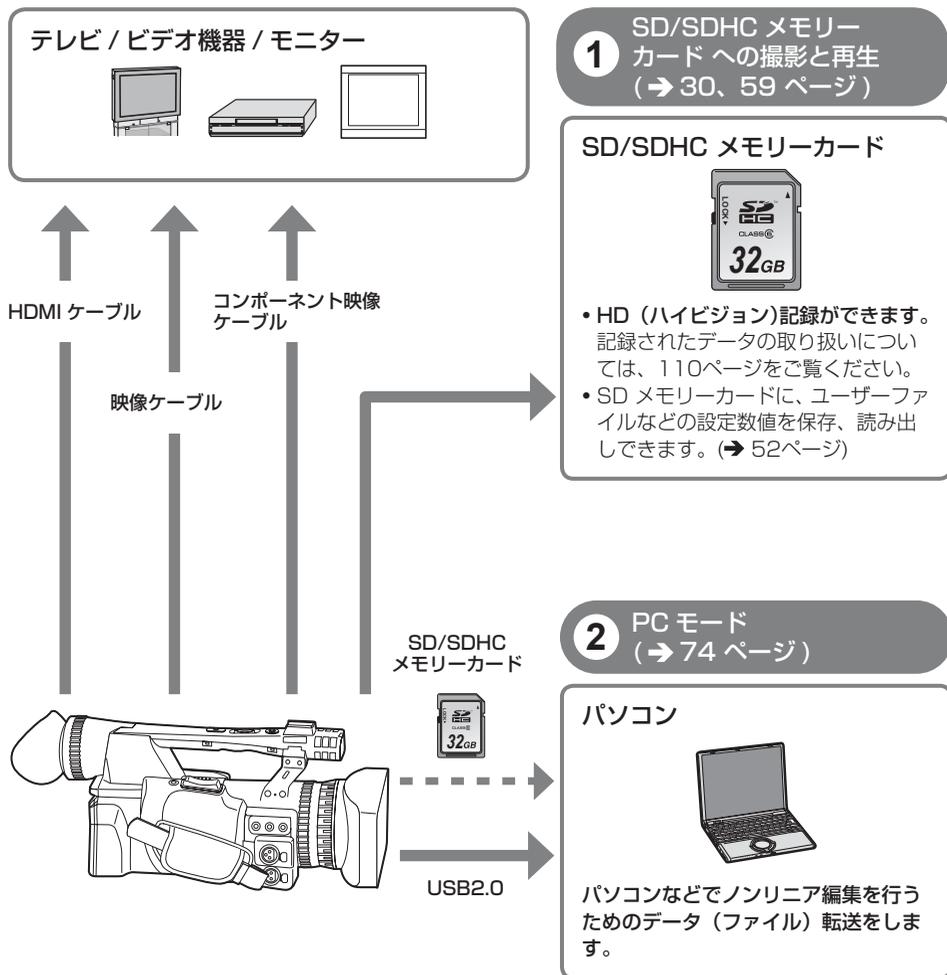
メニュー

ご参考

本機の使いかた

本機はローコストかつ入手が容易な SD/SDHC メモリーカードをメディアに用いる AVCHD 規格のカメラレコーダーです。

放送レベルに迫る高画質収録とクリエイティブな映像制作を行うことができます。



もくじ

本機の使いかた.....	2
安全上のご注意 必ずお守りください.....	5
まずお読みください.....	10
本機で使用可能な SD メモリーカードについて... 10	
CLASS ④ (SD スピードクラス クラス 4) について... 11	

はじめに

ご使用の前に.....	12
付属品.....	14
別売品.....	14

各部の名称

各部の名称.....	15
右面、後面.....	15
左面.....	16
端子部、取り付け部.....	17
リモコン.....	18

準備

バッテリーの充電.....	18
充電する.....	18
電源の準備.....	20
バッテリーを使う.....	20
AC アダプターを使う.....	20
グリップベルトの調節.....	21
ショルダーベルトの取り付け.....	21
レンズフードの取り外し・取り付け.....	21
リモコンの準備.....	22
コイン電池を入れる.....	22
リモコンが使える範囲.....	22
電源の入れかた・切りかた.....	22
スタンバイモードについて.....	23
タリーランプについて.....	23
ファインダーの使いかた.....	24
ビューファインダーを使う.....	24
液晶モニターを使う.....	25
映像の輪郭を強調する.....	25
画面表示を調整する.....	26
バックライトの明るさを変える.....	27
画像の上下左右を反転させる.....	27
カレンダーを合わせる.....	28

撮影

撮影の基本操作.....	30
撮影準備.....	30
オートモードで撮影する.....	30
撮影した映像を確認する (REC CHECK).....	31
SD メモリーカードアクセスランプについて.....	31
SD メモリーカードのフォーマット.....	32
SD メモリーカードの記録時間について.....	32
SD メモリーカードを取り出す.....	33
SD メモリーカードの保護について.....	33
SD メモリーカードの修復について.....	33

ズーム機能を使う.....	34
デジタルズーム機能.....	34
プロGRESSIVEモードで撮影する.....	35
マニュアルモードで撮影する.....	36
マニュアルモードに切り替える.....	36
ピントを合わせる (マニュアルフォーカス).....	36
フォーカスアシストを使う.....	37
絞りを調整する.....	37
ゲインを調整する.....	38
光量調節.....	38
ホワイトバランスを調整する.....	38
便利な撮影機能を使う.....	41
ローアングル撮影.....	41
対面撮影.....	41
ゼブラパターン.....	41
マーカー.....	42
撮影状態の確認と表示.....	42
プリレック (PRE REC).....	42
手ぶれ補正機能.....	43
映像に効果を加える.....	43
USER ボタンの活用.....	43
逆光補正.....	43
カラーバー.....	43
ウェーブフォームモニター機能.....	44
撮影時の音量調整.....	44
ショットマーク機能.....	45
インデックス記録.....	45
タイムスタンプ機能.....	45
LAST CLIP 機能.....	45
シャッタースピードを調整する.....	46
シンクロスキャン.....	47
入力音声を切り替える.....	48
内蔵マイクを使う.....	48
外部マイクやオーディオ機器を使う.....	48
音声の記録レベルを調整する.....	49
撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル).....	50
シーンファイルの設定変更.....	50
SD メモリーカードにシーンファイルなどを 保存する.....	52
クリップメタデータについて.....	53
メタデータのアップロードなどを行う (META DATA).....	54
USER CLIP NAME の記録方法の選択.....	54
カウンターを利用する.....	55
カウンター表示.....	55
TC プリセットモード.....	55
内蔵電池の充電 / タイムコードを設定する.....	56
内蔵電池の充電.....	56
タイムコードを設定する.....	56
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目).....	56
ユーザーズピットを設定する.....	58

再生

再生の基本操作.....	59
サムネール画面について.....	60
サムネール画面の基本操作.....	60
クリップにショットマークを付ける.....	62
ダイレクト撮影機能について.....	62
再生の設定をする (PLAY SETUP).....	63
再生フォーマットを設定する (PB FORMAT).....	63
リピート再生 (REPEAT PLAY).....	63
続きから再生する (RESUME PLAY).....	64
スキップの方法を設定する (SKIP MODE).....	64
サムネールの操作.....	65
サムネールの表示方法を選ぶ (THUMBNAIL SETUP).....	65
クリップの削除やプロテクトなどを行う (OPERATION).....	66
カードのフォーマットやクリップやカードの 情報を確認する (CARD FUNCTIONS).....	67
再生に便利な機能.....	69
早送り / 早戻し再生.....	69
クリップ送り / 戻し.....	69
コマ送り再生.....	70
音量を調整する.....	70
テレビに接続して見る.....	70
撮影日時を確認する.....	70

編集

外部機器を接続する.....	71
ヘッドホン.....	71
外部マイク.....	71
パソコン (ノンリニア編集 / ファイル転送) ...	72
ビデオデッキ (ダビング).....	72
テレビ / モニター.....	72
ノンリニア編集をする (PC モード).....	74
ダビングをする.....	75
ブルーレイディスクレコーダーを使って ダビングする.....	75

表示

画面の表示.....	76
通常表示.....	76
主な警告表示.....	79
画面表示内容の選択.....	81

メニュー

設定メニューの基本操作.....	82
設定メニューの操作方法.....	82
設定メニューを初期化する.....	83
設定メニューの構成.....	84
カメラ (CAM) モードのメニュー.....	84
再生 (PB) モードのメニュー.....	85
設定メニュー一覧.....	86
SCENE FILE 画面.....	86
SW MODE 画面.....	88
AUTO SW 画面.....	90
RECORDING SETUP 画面.....	91
TC/UB SETUP 画面.....	92
AV OUT SETUP 画面.....	93
DISPLAY SETUP 画面.....	94
CARD FUNCTIONS 画面.....	96
USER FILE 画面.....	96
META DATA 画面.....	96
PLAY SETUP 画面.....	97
THUMBNAIL SETUP 画面.....	97
OPERATION 画面.....	98
OTHER FUNCTIONS 画面.....	98

ご参考

故障?と思ったら (Q&A).....	100
使用上のご注意.....	104
本機搭載ドライバーのアップデート.....	106
お手入れについて.....	106
保管上のごお願い.....	107
海外で使う.....	108
撮ったものを海外で見るには.....	108
ACアダプターを海外で使用するには.....	108
記録フォーマット一覧.....	110
SD メモリーカード記録データの 取り扱いについて.....	110
保証とアフターサービス (よくお読みください) ...	111
修理を依頼されるとき.....	111
定格.....	112

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

				してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。		

危険

バッテリーは…	
	<ul style="list-style-type: none">■ 指定以外のものを使わない■ 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない■ 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしていない■ 電子レンジやオープンなどで加熱しない■ 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては 104 ページをご参照ください。⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機専用の AC アダプターで充電する (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)

AC アダプターは…	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)



警告

カメラレコーダーや付属品は…



■ **乗り物を運転しながら使わない**

(事故の誘発につながります。)

⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

■ **可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない**

(火災の原因になります。)

⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

■ **電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない**

(本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。)
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、
皮膚感覚が弱い人など (高齢者) は、低温やけどになりやすい傾向があります。



接触禁止

■ **雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない**

(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

■ **分解や改造をしない**

(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)

⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ **本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする**

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。



電源プラグ
を抜く

■ **異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く**

[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、
煙や異臭、異音などが出たとき]

(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)

⇒ AC アダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。

⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

⇒ 販売店にご相談ください。

リモコン用のコイン電池は…



■ **+ と - は逆に入れない**

■ **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない**

■ **ネックレスなどの金属物と一緒にしない**

■ **指定外の電池は使用しない**

(液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺破損の原因になることがあります。)

⇒ 電池の交換方法は 22 ページを参照して下さい。

警告 (つづき)

ACアダプターは…



■ 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

[傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]

■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない

■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100V ~ 240V 以外での使用はしない

(感電・火災の原因になります。)

⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない

(感電・火災の原因になります。)



■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込み、ほこり等は定期的に取り

(感電・火災の原因になります。)

⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⇒ 電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

小さな付属品は…



■ メモリーカード、コイン電池、マイクホルダー用ネジ、マイクホルダーアダプター、フェライトコア、バインダー、INPUT 端子キャップは乳幼児の手に届くところに置かない

(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)

⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

カメラレコーダーは…

- 

■ **レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない**
(レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)
- **三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない**
(三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
 ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
- **コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない**
(コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

カメラレコーダーや付属品は…

- 

■ **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない
 (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
 (重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- **コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない**
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
- 

■ **飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う**
(本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。)
 ⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。
- 

■ **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

電源プラグを抜く

■本機で使えるバッテリーについて

(2010年12月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーは VW-VBG260 および VW-VBG6 です。
VW-VBG260 および VW-VBG6 は、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

まずお読みください

本機で使用可能な SD メモリーカードについて

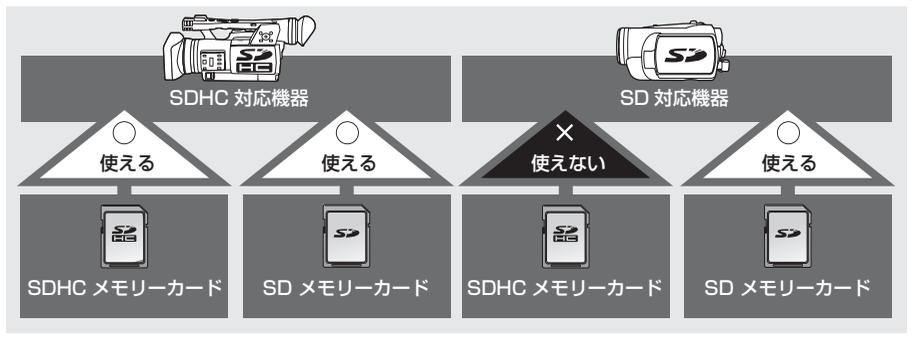
SD スピードクラスがクラス 2 以上準拠の SD メモリーカード・SDHC メモリーカード*、または下記の当社製 SD メモリーカードのご使用をお勧めします。(2008 年 8 月現在)

*PH モード、HA モード記録の場合はクラス 4 以上が必要です。

カードの種類	記憶容量	撮影・再生	シーンファイル、 ユーザーファイルの保存・ 読み込みとメタデータの読み込み
SD メモリー カード	8 MB 16 MB	使用できません。	使用できます。
	32 MB 64 MB 128 MB 256MB	動作保証しておりません。 SD カードによっては、撮影が突 然停止することがあります。	
	512 MB	RP-SDV512	
	1 GB	RP-SDV01G RP-SDM01G	
	2 GB	RP-SDV02G RP-SDM02G	
SDHC メモリー カード	4 GB	RP-SDV04G RP-SDM04G	
	6 GB	RP-SDM06G	
	8 GB	RP-SDV08G RP-SDM08G	
	12 GB	RP-SDM12G	
	16 GB	RP-SDV16G RP-SDM16G AG-SDV016G	
32 GB	RP-SDV32G AG-SDV032G		

- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、サポートページをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
- 本機はSD 規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSD メモリーカード、およびFAT32 形式でフォーマットされたSDHC メモリーカードに対応しています。
- 4 GB 以上のメモリーカードはSDHC メモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない4 GB (以上)のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。
- SD メモリーカードのフォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。(→ 32ページ) (パソコンなどでフォーマットした時は、本機でフォーマットし直してください)
- miniSD/miniSDHC カードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ず、メモリーカードを入れてご使用ください。)
- マルチメディアカードは使用できません。

本機（SDHC 対応機器）は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください）



CLASS④ (SD スピードクラス クラス 4) について

SD 規格で規定された、SD 応用機器と SD メモリーカード間の連続的な書き込みに関する速度規格（SD スピードクラス）のクラス 4 を示します。

SD 応用機器が SD スピードクラスに対応したクラス 4 のカードを推奨の場合、クラス 4 以上準拠の SD メモリーカードのご使用により、安定した記録動作が得られます。

取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
 - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
 - 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

ご使用の前に

ためし撮りをしましょう

- 大切な撮影(結婚式など)の場合は、必ず事前のためし撮りし、正常に撮影・録音されていることを確認してください。

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行きましょう

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。撮影の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。(→ 28ページ)

撮影内容の補償はできません

- 本機およびSD/SDHC メモリーカードの使用で、万一これらの不具合により撮影されなかった場合の撮影内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたがカメラで撮影や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

レーザー光線についてのご注意

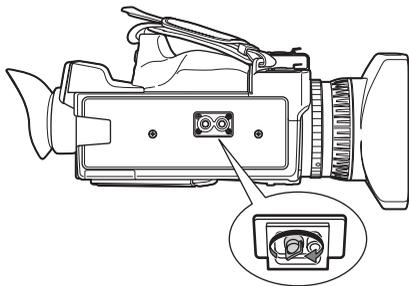
- レーザー光線がCCD に照射されると、CCD を破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

本機で使えるメディアについて

- SD/SDHC メモリーカードが使用できます。詳しくは10ページをご覧ください。

三脚の取り付けについて

- 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



三脚取り付け穴に三脚を取り付ける。

その他の使用上の注意については104ページをご覧ください。

■ 本書の見かた

本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→ 00ページ)のように示しています。

SD/SDHC メモリーカードについて

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらもSD メモリーカードと記載しています。

- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby, ドルビーおよびダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, HDMI ロゴ, および High-Definition Multimedia Interface は, HDMI Licensing LLC の商標または, 登録商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステムズ IR GmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラAGの登録商標です。
- Microsoft®, Windows® および Windows Vista® は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel® は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh は, 米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他, この説明書に記載されている各種名称, 会社名, 商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は, AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており, お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画 (以下, AVC ビデオ) を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品で SD メモリカードに記録して, エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には, 別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは, 個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

AVCHD とは？

高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。
映像圧縮は MPEG-4 AVC/H.264 方式、音声はドルビーデジタルで記録します。

SDHC メモリーカード、また撮影したビデオの互換性について 以下のことにお気をつけください

SDHC メモリーカードについて

- SDHC 対応機器以外とは互換性がありません。
- 他機でお使いの場合は、SDHC 対応機器をご使用ください。(→ 11 ページ)



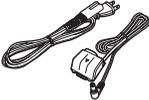
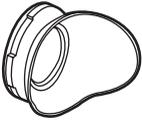
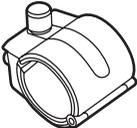
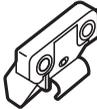
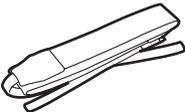
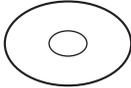
撮影したビデオの互換性について

- AVCHD 対応機器以外とは互換性がありません。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
- 互換性のない機器 (AVCHD に対応していない機器) では再生できません。
- AVCHD 対応機器であっても再生できない場合があります。この場合は、本機で再生してください。



AVCHD に対応していない
従来の DVD レコーダーや
DVD プレーヤーなど

付属品

<p>バッテリー *1</p> 	<p>AC アダプター</p> 	<p>AC コード / DC コード</p> 	<p>ワイヤレスリモコン リモコン用コイン電池 (CR2025)</p> 
<p>アイキャップ</p> 	<p>マイクホルダー</p> 	<p>マイクホルダー用ネジ 長さ 6 mm (2 個)  長さ 12 mm (2 個) </p>	<p>マイクホルダー アダプター</p> 
<p>ショルダーベルト</p> 	<p>コンポーネント映像 ケーブル</p> 	<p>フェライトコア (4 個) *2</p> 	<p>バンダー (4 本)</p> 
<p>CD-ROM</p> 	<p>以下の付属品は本体に取り付けられています。</p>		
<p>レンズフードキャップ</p> 		<p>INPUT 端子キャップ (2 個)</p> 	

*1 「バッテリー」の品番につきましては、別売品を参照してください。

*2 USB ケーブル (別売) や HDMI ケーブル (別売) を使う場合は、ケーブルに必ずフェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付けないと、周辺の機器に妨害を与える原因になります。(→ 72、73 ページ)

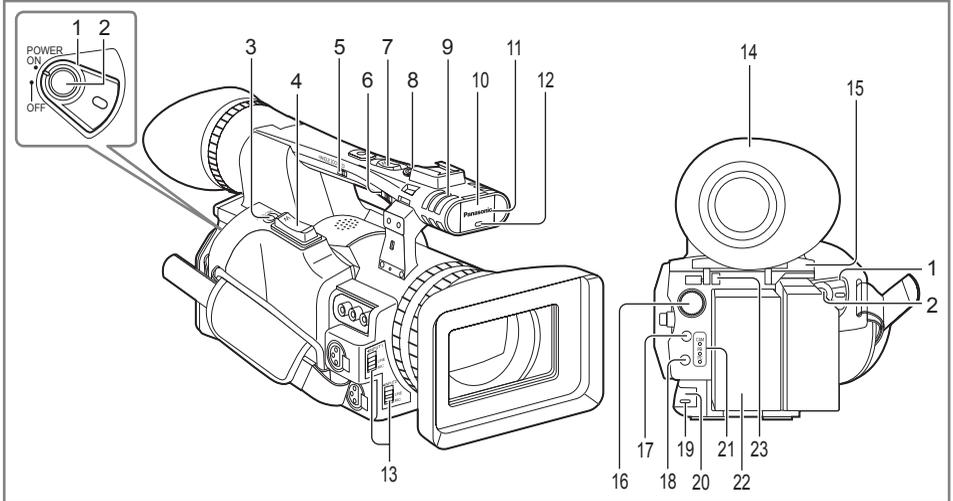
- 付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。
- AC コードキャップ及び包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品

- 超指向性マイクロホン
AG-MC200G
- バッテリー
VW-VBG260 (7.2 V、2640/2500 (typ./min.) mAh : 付属のバッテリーと同等品)
VW-VBG6 (7.2 V、5800/5400 (typ./min.) mAh)

各部の名称

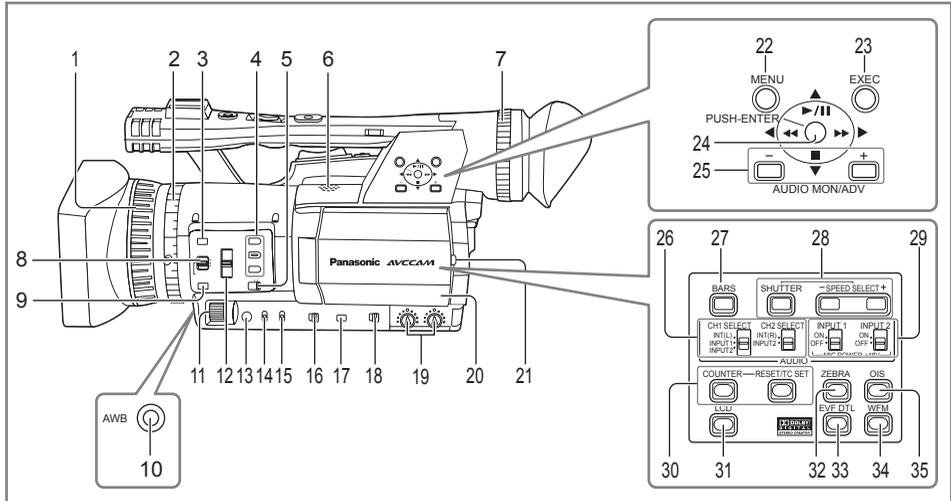
右面、後面



- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1 POWER スイッチ (→ 22 ページ) | 14 ビューファインダー (→ 24 ページ) |
| 2 START/STOP ボタン (→ 30 ページ) | 15 SD メモリーカードスロット (カバー)
(→ 30 ページ) |
| 3 REC CHECK ボタン (→ 31 ページ) | 16 SCENE FILE ダイヤル
(→ 50 ページ) |
| 4 ズーム ボタン (→ 34 ページ) | 17 STAND BY ボタン (→ 23 ページ) |
| 5 HANDLE ZOOM スイッチ (→ 34 ページ) | 18 動作モードボタン (→ 30、59 ページ) |
| 6 REC 切替スイッチ (→ 41 ページ) | 19 タリーランプ (リア) (→ 23 ページ) |
| 7 ズームボタン (ハンドル側) (→ 34 ページ) | 20 リモコンセンサー (リア) (→ 22 ページ) |
| 8 START/STOP ボタン (ハンドル側)
(→ 41 ページ) | 21 動作ランプ (→ 30、59 ページ) |
| 9 マイクロホン (内蔵、ステレオ)
(→ 48 ページ) | 22 バッテリー取り付け部 (→ 20 ページ) |
| 10 ホワイトバランスセンサー (→ 40 ページ) | 23 バッテリー取り外しボタン (→ 20 ページ) |
| 11 リモコンセンサー (フロント) (→ 22 ページ) | |
| 12 タリーランプ (フロント) (→ 23 ページ) | |
| 13 INPUT 1/2 (音声入力切替) スイッチ
(→ 48 ページ) | |

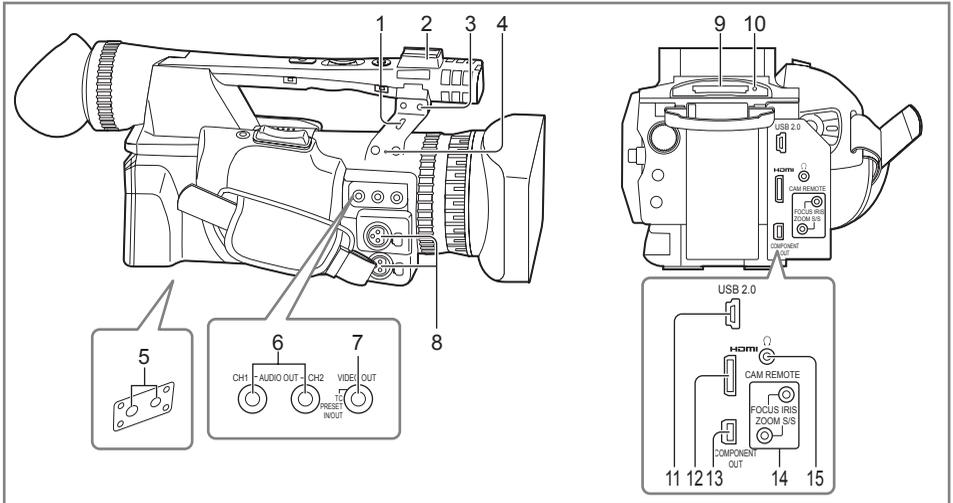
各部の名称 (つづき)

左面



- | | |
|--|---|
| <p>1 フォーカスリング (→ 36 ページ)</p> <p>2 ズームリング (→ 34 ページ)
ズームリングのピンが不要な場合、ピンホルダー (→ 次ページの 4) に取り付け、紛失しないようにしてください。</p> <p>3 FOCUS ASSIST ボタン (→ 37 ページ)</p> <p>4 USER ボタン (→ 43、88 ページ)</p> <p>5 ZOOM スイッチ (→ 34 ページ)</p> <p>6 内蔵スピーカー (→ 70 ページ)</p> <p>7 視度調整ダイヤル (→ 24 ページ)</p> <p>8 FOCUS スイッチ (→ 36 ページ)</p> <p>9 PUSH AUTO ボタン (→ 36 ページ)</p> <p>10 AWB ボタン (→ 38 ページ)</p> <p>11 IRIS ダイアル (→ 37 ページ)</p> <p>12 ND FILTER スイッチ (→ 38 ページ)</p> <p>13 IRIS ボタン (→ 37 ページ)</p> <p>14 GAIN スイッチ (→ 38 ページ)</p> <p>15 WHITE BAL スイッチ (→ 38 ページ)</p> <p>16 RING (FOCUS/IRIS) 切替スイッチ (→ 36 ページ)</p> <p>17 DISP/MODE CHK ボタン (→ 42 ページ)</p> <p>18 AUTO/MANUAL スイッチ (→ 30、36 ページ)</p> | <p>19 AUDIO LEVEL つまみ (CH1、CH2) (→ 49 ページ)</p> <p>20 液晶モニター (→ 25 ページ)</p> <p>21 OPEN ボタン (→ 25 ページ)</p> <p>22 MENU ボタン (→ 82 ページ)</p> <p>23 EXEC ボタン (→ 66 ページ)</p> <p>24 OPERATION レバー (→ 82 ページ)</p> <p>25 AUDIO MON/ADV ボタン (→ 44、70 ページ)</p> <p>26 CH1、CH2 SELECT スイッチ (→ 48 ページ)</p> <p>27 BARS ボタン (→ 43 ページ)</p> <p>28 SHUTTER、SPEED SELECT + / - ボタン (→ 46 ページ)</p> <p>29 INPUT1/2 スイッチ (MIC POWER + 48 V) (→ 48 ページ)</p> <p>30 COUNTER - RESET/TC SET ボタン (→ 55 ページ)</p> <p>31 LCD ボタン (→ 27 ページ)</p> <p>32 ZEBRA ボタン (→ 41 ページ)</p> <p>33 EVF DTL ボタン (→ 25 ページ)</p> <p>34 WFM ボタン (→ 44 ページ)</p> <p>35 OIS ボタン (→ 43 ページ)</p> |
|--|---|

端子部、取り付け部



1 セキュリティーロック穴

セキュリティー用ケーブルを取り付けることができます。

接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。

セキュリティーロックおよびセキュリティー用ケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

2 ライトシュー

3 マイクロホンシュー (→ 71 ページ)

4 ピンホルダー (ズームリングピン用) (→ 前ページの 2)

5 三脚取り付け穴 (→ 12 ページ)

6 AUDIO OUT CH1/CH2 端子 (→ 72、73 ページ)

7 VIDEO OUT 端子 (→ 72、73 ページ)

8 INPUT 1/2 端子 (XLR 3 ピン) (→ 71 ページ)

9 SD メモリーカードスロット (→ 30 ページ)

10 SD メモリーカードアクセスランプ (→ 31 ページ)

11 USB 端子 (Mini-B) (→ 72、74 ページ)

12 HDMI OUT 端子 (→ 73 ページ)

13 COMPONENT OUT 端子 (→ 73 ページ)

14 CAM REMOTE ジャック *

FOCUS/IRIS (3.5 mm ミニジャック)

リモコン (別売) を接続して、フォーカス (ピント) 操作、およびアイリス (絞り) 操作をリモート制御できます。

ZOOM S/S (2.5 mm スーパーミニジャック)

リモコンを接続して、ズーム操作と記録スタート / ストップの操作をリモート制御できます。

15 ヘッドホンジャック (3.5 mm ステレオミニジャック) (→ 71 ページ)

* CAM REMOTE ジャックにはリモコン以外の機器を接続しないでください。リモコン以外の機器を接続すると、映像の明るさが変化したり、ピントが合わなくなったりすることがあります。

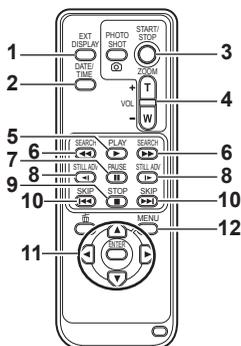
各部の名称 (つづき)

リモコン

リモコンを使う場合は、OTHER FUNCTIONS 画面の IR REMOTE 項目を ON に設定してください。工場出荷時は OFF に設定されています。(→ 98 ページ)

下記に示すボタンは本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

・PHOTO SHOT ボタン ・ ボタン



リモコンが使える範囲 (→ 22 ページ)

- 1 EXT. DISPLAY ボタン (→ 70 ページ)
- 2 DATE/TIME ボタン (→ 70 ページ)
- 3 START/STOP ボタン
カメラ本体の START/STOP ボタンと同じ働きです。
- 4 ZOOM/VOL ボタン (→ 34、70 ページ)
- 5 PLAY ボタン (→ 59 ページ)
- 6 SEARCH ボタン (→ 59、69 ページ)
- 7 PAUSE ボタン (→ 59 ページ)
- 8 STILL ADV ボタン (→ 70 ページ)
- 9 STOP ボタン (→ 59 ページ)
- 10 SKIP ボタン (→ 59、69 ページ)
- 11 操作 ボタン
カメラ本体の OPERATION レバーと同じ働きです。
- 12 MENU ボタン
カメラ本体の MENU ボタンと同じ働きです。

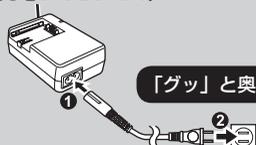
バッテリーの充電

充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。また、予備のバッテリーを 1 本用意されることをお勧めします。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ。

DC コードは抜いておく
(DC コードが繋がっているとバッテリーの充電ができません)



「グッ」と奥まで差し込む

2 バッテリーを付ける。



充電ランプ [CHARGE]

マークに合わせてのせてから、
しっかり押し込む

■ 充電ランプ

点灯：充電中
消灯：充電完了
点滅：下記参照

■ 充電ランプが点滅した時は

バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。

- ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、取り除いてください。
- それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 充電時間と撮影可能時間の目安

バッテリー 品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影 可能時間
VW- VBG260 (付属)	7.2 V/ 2640/2500 (typ./min.) mAh	約 170 分	約 100 分
VW-VBG6 (別売)	7.2 V/ 5800/5400 (typ./min.) mAh	約 350 分	約 230 分

- 上の表は常温(温度25℃ / 湿度60%)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、目安にしてください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する時は、充電時間が長くなる場合があります。
- 連続撮影可能時間は、外部機器と接続せずに、液晶モニターを閉じた状態で、ビューファインダーを使って撮影した場合の目安です。
- 使用状況によって撮影可能時間は変わりますので、目安にしてください。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。

■ バッテリー残量表示について

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。

 90min

表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 と表示が変わります。3分以下になると  が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量表示を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、REC CHECKを行ったり、LCDの明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

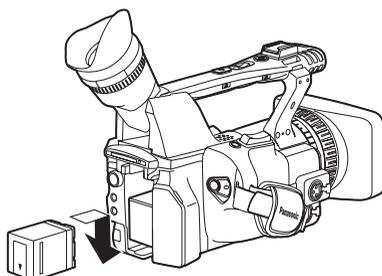
- バッテリーおよびカメラ本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 撮影と停止を繰り返すと、撮影時間は左の表より短くなります。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長かかります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ACアダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ACアダプターにDCケーブルを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。

電源の準備

バッテリーを使う

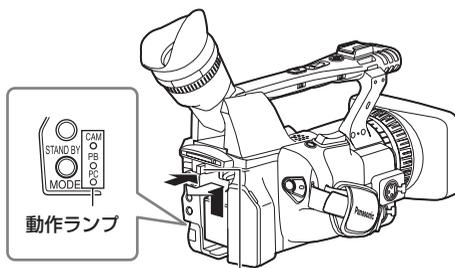
取り付け

カチッという音がするまで入れる。



取り外し

- 1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながらバッテリーを持ち上げて取り外す。
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

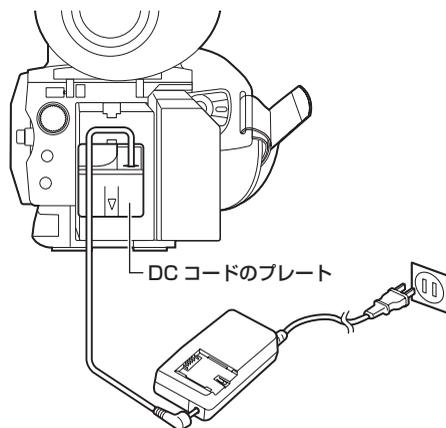


バッテリー取り外しボタン

AC アダプターを使う

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する。
- 2 AC コードをコンセントに接続する。
- 3 DC コードのプレートをかちッという音がするまで入れる。



取り外し

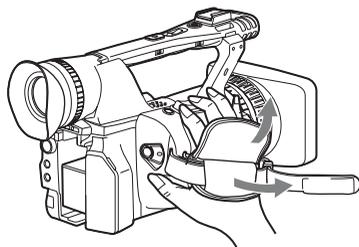
- 1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す。
- 3 AC コードをコンセントから抜く。

- AC アダプターに DC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧(100 V - 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。(→ 108ページ)変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

グリップベルトの調節

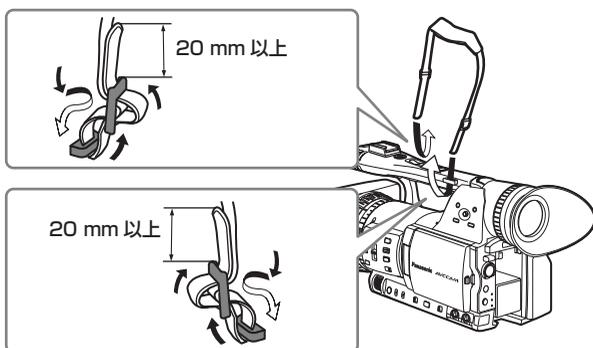
グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調節する。
- 2 カバーを元に戻す。
 - しっかりとカバーを密着させてください。



ショルダーベルトの取り付け

本機を落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお勧めします。



標準

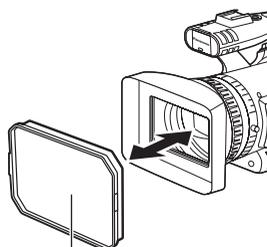
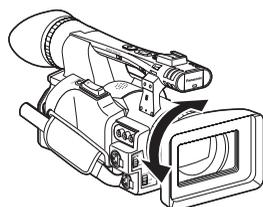
レンズフードの取り外し・取り付け

レンズフードを外す

- 反時計方向にレンズフードを回して外します。

レンズフードを取り付ける

- 時計方向にレンズフードを、カチッと音がしてロックするまで回して固定します。
- 使用しない時はレンズを保護するためにレンズフードキャップを取り付けてください。

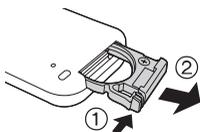


レンズフードキャップ

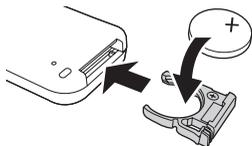
リモコンの準備

コイン電池を入れる

- 1 つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜く。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れる。

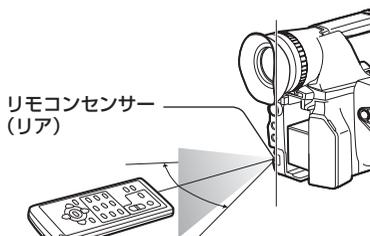


- 3 ホルダーを元に戻す。

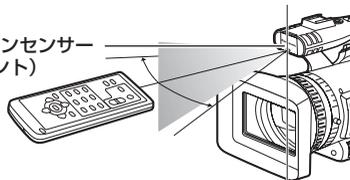
- 電池(CR2025)が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です)
リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、**幼児の手の届かない所に置いてください**。

リモコンが使える範囲

リモコンセンサーに対して、
距離：約5m以内
角度：上に約10°、下に約15°、左右に約15°
(付属バッテリー使用時)



リモコンセンサー
(フロント)



- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサーに強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

電源の入れかた・切りかた

ロック解除ボタンを押しながら、POWER スイッチを回す。

電源を入れると：

動作ランプ (CAM) が赤点灯し (カメラモード)、撮影の一時停止状態になります。

電源を切ると：

動作ランプ (CAM) が消灯します。

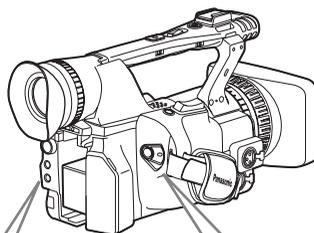
• 省電力モードについて

撮影一時停止状態 (SD メモリーカード挿入時) で約5分間、特定の操作*がない場合、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のPOWER SAVE 項目の設定によって次のようになります。

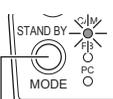
ON：自動的に本機の電源をOFFにします。

OFF：電源をOFFにしません。

* 特定の操作については、設定メニュー POWER SAVEの項目(→99ページ)をご覧ください。



動作ランプ



動作モードボタン



ロック解除ボタン

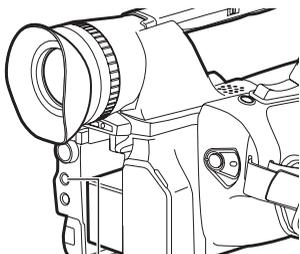
スタンバイモードについて

電源を入れてから撮影開始までの時間を通常より短くすることができます。

■設定のしかた

電源を入れた状態で STAND BY ボタンを2秒以上長押しするとスタンバイモード設定状態になり、液晶モニターおよび、ビューファインダーに STD BY と表示されます。

- この状態からPOWERスイッチをOFFにして電源を切るとスタンバイモードになり、動作ランプ(CAM)が2秒間に1回の速さで点滅します。
- CAMモードからPOWERスイッチをOFFにして電源を切った場合のみスタンバイモードになります。
- PBモード、PCモードからPOWERスイッチをOFFにして電源を切ってもスタンバイモードには入りません。



STAND BY ボタン

タリーランプについて

OTHER FUNCTIONS 画面の REC LAMP 項目 (➔ 98 ページ) を OFF 以外に設定すると、撮影中にタリーランプを点灯させることができます。

また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが点滅します。

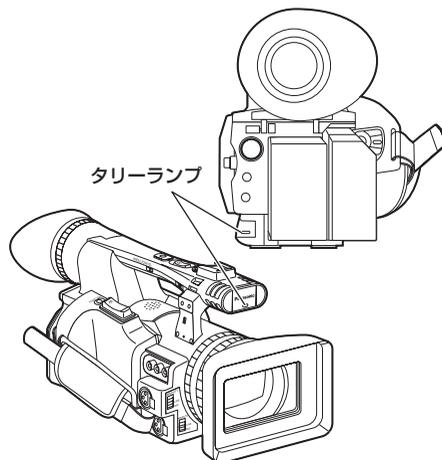
- リモコン操作の受信時(1秒間に8回)
- 記録異常が発生した時(1秒間に4回)
- バッテリーの残量がなくなった時(1秒間に4回)
- SDメモリーカードの記録残量がなくなった時(1秒間に4回)
- 手ぶれ補正機能が正しく働いていない時(1秒間に4回)
- フォーカス機能に異常がある時(1秒間に4回)
- バッテリーの残量が少なくなった時(1秒間に1回)
- SDメモリーカードの記録残量が少なくなった時(1秒間に1回)

■解除のしかた

電源が入っている状態で STAND BY ボタンを2秒以上長押しするとスタンバイモードが解除され、液晶モニターまたはビューファインダーの STD BY 表示が消えます。

- 以下の場合にもスタンバイモードが解除されません。
 - 電源が入っていない状態が30分以上つづいた時。
 - バッテリーの残量が少ない時。
 - バッテリーを取り外した時。

- スタンバイモード中にSTAND BY ボタンを押すと動作ランプ(CAM)の点滅が速くなり、30分間延長されます。また、スタンバイモードが解除される5分前になると動作ランプ(CAM)の点滅が速くなります。
- スタンバイモード中は、POWERスイッチをOFFにして電源を切っても撮影一時停止の約6割の電力を消費するため、撮影可能時間が通常より短くなります。



ファインダーの使いかた

本機のファインダーには、小型の LCD を採用したビューファインダーと、3.5 インチの液晶モニターがあります。

用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とでは、明るさや色合いが違う場合があります。

最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

ビューファインダーを使う

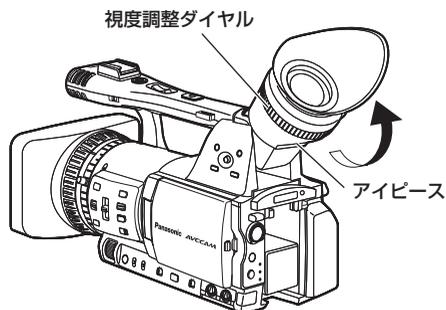
- 1 本機の POWER スイッチを ON にし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認する。



- 2 ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にする。

- ビューファインダーは、約90度まで垂直に起こすことができます。

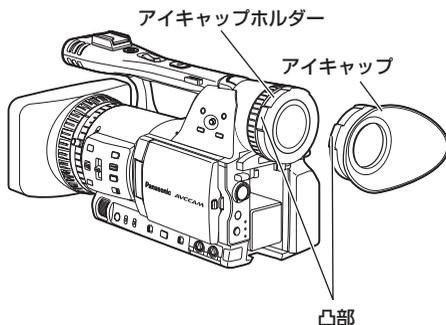
- 3 視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整する。



アイキャップの取り付け

アイキャップホルダーとアイキャップの凸部どうしを合わせて取り付けてください。

- 取り付け後にアイキャップを回すと、アイキャップホルダーが外れることがあります。アイキャップホルダーが外れた時は、「ビューファインダーのお手入れ」(→ 106ページ)を参照して取り付けてください。

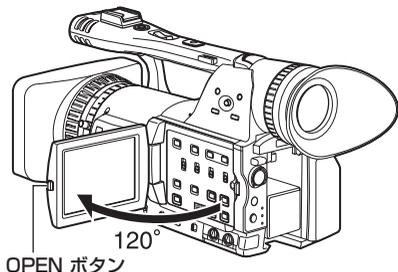


ビューファインダーのアイピースは、太陽や強い光源に向けたままにしない。

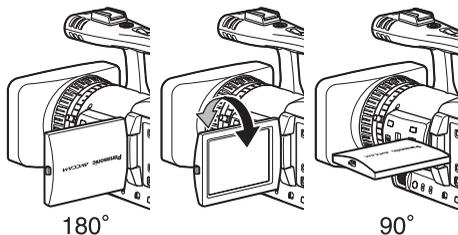
- レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。

液晶モニターを使う

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(⇒ 22 ページ)
- 2 OPEN ボタンを押しながら、液晶モニターを開く。
 - 開く角度は、120 度までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



- 3 液晶モニターの画面が一番見やすい位置にする。
 - レンズ方向に180度、手前方向に90度まで回転します。
 - 開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。

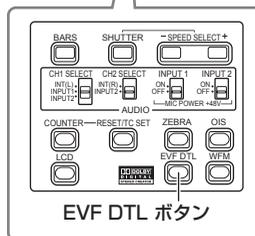
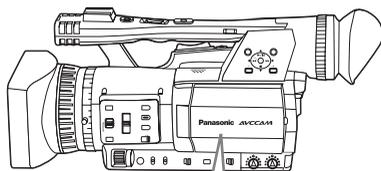


- 液晶モニターを閉じる時は、確実に閉じてください。
- 対面撮影時の動作状態表示
表示なし: 記録できない状態(カードなし等)
○: 撮影中、撮影停止移行中
⏏: 撮影停止(撮影待機)
! : 警告表示中

映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。

- 1 CAM モードの時に EVF DTL ボタンを押す。画面中央に「EVF DTL ON」と約 2 秒間表示されます。



元に戻す時は、再度 EVF DTL ボタンを押します。この時、画面中央に「EVF DTL OFF」と約 2 秒間表示されます。

画面表示を調整する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)
- 5 選んだ項目を OPERATION レバーの ◀ または ▶ で調整する。

- 2 MENU ボタンを押す。
 - メニューの操作(→ 82 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 18ページ)



- 3 ビューファインダーの調整
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF SET 項目で YES を選ぶ。



液晶モニターの調整

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の LCD SET 項目で YES を選ぶ。



- 4 設定したい項目を OPERATION レバーの ▲ または ▼ で選び、OPERATION レバーを押す。



- 6 MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

- ビューファインダー表示はカラーとモノクロを選択できます(設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF COLOR 項目)。なお、解像度はどちらも同じです。

バックライトの明るさを変える

液晶モニターのパックライトの明るさを3段階で切り替えることができます。

1 設定メニュー SW MODE 画面のLCD項目でLCD BLを選ぶ。

LCD ボタンにLCD BLが割り当てられます。

2 LCD ボタンを押す。

ボタンを押すごとにNORMAL(標準) → LOW(暗い) → HIGH(明るい) → NORMALの順にバックライトの明るさが切り替わります。



- 本体の電源を切っても、設定は保持されます。
- 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の LCD BACKLIGHT 項目でも切り替えできます。(→ 94ページ)

画像の上下左右を反転させる

液晶モニターに表示される映像を、上下、左右を反転することによって画角や映像のイメージを確認することができます。

表示される映像を反転しても、記録される映像は反転されません。

1 設定メニュー SW MODE 画面のLCD項目でLCD REVを選ぶ。

LCD ボタンにLCD REVが割り当てられます。

2 LCD ボタンを押す。

ボタンを押すごとに通常表示、反転表示が切り替わります。



- 本機の電源を切ると、次回、電源を入れた時は通常表示されます。
- 映像以外の画面表示も反転表示されません。画面表示が不要な場合は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと、一部表示を消すことができます。
- 反転表示中は、REC_CHECK中の映像とPBモードでの再生映像も反転します。
- ビューファインダーの映像は反転しません。

カレンダーを合わせる

CLOCK SET の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。撮影の前に、必ず CLOCK SET と TIME ZONE を確認・設定してください。

ここではカレンダーを 2008 年 12 月 25 日 17 時 20 分に設定する手順を説明します。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
(→ 22 ページ)
- 2 MENU ボタンを押す。
 - メニューの操作 (→ 82 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 18 ページ)
- 3 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の TIME ZONE 項目を選んで、OPERATION レバーを押す。(または ▶ 方向に倒す)



- 4 OPERATION レバーを 2 回押すと設定画面が表示されるので、OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して、グリニッジ標準時間からの時差を設定し、OPERATION レバーを押す。
日本で使う場合、「+09:00」（工場出荷モード）に設定します。



- 5 OPERATION レバーを ◀ 方向に倒し、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の CLOCK SET 項目で YES を選ぶ。



- 6 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、DEC にする。



- 7 OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して、項目移動し、▲▼ 方向に倒して、25 にする。



- 8 手順 6、7 と同様の方法で、残りの項目を設定する。



- 日付は2001年1月1日 から2039年12月31日 まで設定できます。
- 日付が2039年12月31日を超えた場合は、“--.--”が表示されます。
- 時刻は24時間表示です。

-
- 9 設定が終了したら OPERATION レバーを押し、確認の画面で YES を選んで OPERATION レバーを押す。

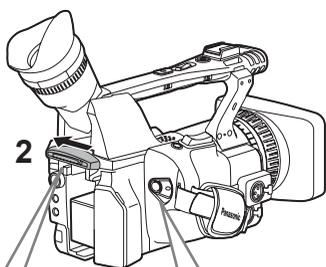


-
- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
 - 海外で使う場合、CLOCK SET項目を現地時間に合わせるのではなく、TIME ZONEによるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。
-

撮影の基本操作

撮影準備

- 1 本機の POWER スイッチを OFF にする。
(→ 22 ページ)
 - 動作ランプの消灯を確認してください。
- 2 ビューファインダーを上に戻し、カードスロットカバーを左にスライドさせて開く。
- 3 SD メモリーカードをカードスロットの奥までしっかり差し込む。
- 4 SD メモリーカードスロットカバーを閉じる。
 - 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。



3



端子側を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む

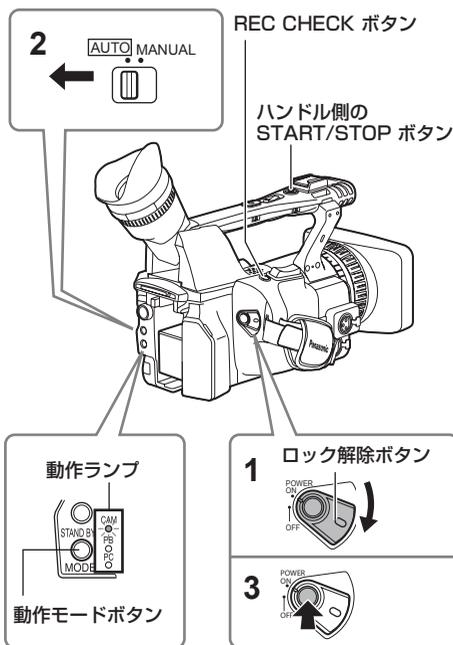
1 ロック解除ボタン



- SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に下記の動作を行わないでください。SD メモリーカードやSD メモリーカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- カード扉を開けてSD メモリーカードを抜く
- 電源を切る
- USB接続ケーブルを抜き差しする
- 振動や衝撃を与える
- 他の機器でお使いになったSD メモリーカードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(→ 32 ページ)
- ビューファインダーや液晶モニター画面に CHECK CARD (カードを確認してください。) の表示が出た場合は、SD メモリーカードを取り出して、再度挿入してください。

オートモードで撮影する

- 1 POWER スイッチを ON にする。(→ 22 ページ)
 - 動作ランプ(CAM)が赤点灯していることを確認してください。
- 2 AUTO/MANUAL スイッチを AUTO にする。
 -  がビューファインダーや液晶モニターの上に表示されます。
 - 設定メニュー AUTO SW 項目の設定に従って、フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランスが自動調整されます。
- 3 START/STOP ボタン (赤) を押し、撮影を開始する。
 - 再度押すと撮影の一時停止状態になります。
 - ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の START/STOP ボタンを使うと便利です。ハンドル側の START/STOP ボタンは、ハンドルの REC 切替スイッチで ON (有効) / OFF (無効) の設定ができます。
 - メニュー画面が表示されていると撮影ができません。メニュー画面を閉じてから、START/STOP ボタンを押してください。
 - 撮影中にSD メモリーカードスロットカバーを開けると、撮影が停止します。



動作ランプ



動作モードボタン

1 ロック解除ボタン



- 撮影を開始してから停止するまでが、1クリップとして記録されます。
- 短時間記録の停止動作の場合、START/STOP ボタンを押しても、SD メモリーカードへの書き込み完了までに時間を要する場合があります。その場合は、すぐにSTART/STOP ボタンを押しても、動作を受け付けることができません。
- SD メモリーカード挿入直後は、SD メモリーカード情報の読み込みを行っていますので、動作状態表示(⇒ 78ページ)にPAUSEが表示されてから、START/STOPボタンを押して撮影を開始してください。
- 工場出荷モードでは、PHモード1080/60i記録の設定になっています。(現在の設定状態を見るには：⇒ 42ページ)
- 1枚のSD メモリーカードに、記録できるクリップ数の上限は900です。(ただし、POWER スイッチをONにしてすぐに撮影するような場合に、クリップ数が900を超えて記録されることがあります。)

撮影した映像を確認する (REC CHECK)

撮影一時停止の時に REC CHECK ボタンを押す。直前約 2 秒間の映像と音声再生した後、一時停止状態になります。

- REC CHECK中は、POWERおよびSTART/STOP ボタンのみ動作します。
- 機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、このREC CHECK 映像も記録されます。
- 動作モードがPCおよびPBモードの時は動作しません。
- 撮影後に、REC FORMATを変更した場合や、PBモードに切り替えた後でCAMモードにした場合は動作しません。

SD メモリーカードアクセスランプについて

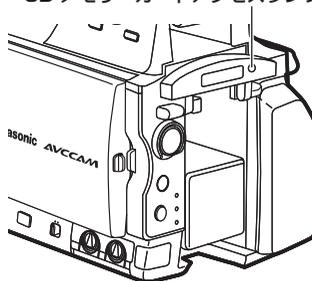
CAM モード (PB モード)

- オレンジ色点灯： 読み込み、書き込み可能
 オレンジ色点滅(速)： 認識中、不良カード判別時
 オレンジ色点滅(遅)： アクセス中
 緑色点滅(遅)： 書き込み保護状態、カード残量なし
 消灯： 未挿入、未フォーマット、未対応カードの挿入

PC モード

- オレンジ色点灯： アクセス中
 消灯： アクセス中以外

SD メモリーカードアクセスランプ



SD メモリーカードのフォーマット

1 本機のPOWERスイッチをONにする。(→ 22ページ)

2 MENU ボタンを押す。

3 メニューから CARD FUNCTIONS → CARD FORMAT を選ぶ。

- 下記のような画面が表示されますので、YESを選択します。フォーマットしない場合はNOを選択してください。
- MENU ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。



4 確認の画面で YES を選ぶ。

- SD メモリーカードがフォーマットされます。



5 MENU ボタンを押して終了する。

- フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンに保存しておいてください。

SD メモリーカードの記録時間について

- Panasonic製SD/SDHC メモリーカード使用時の記録時間(目安)

SD メモリー カード容量	記録モード			
	PH*1 (最高画質モード *3/ 1920 × 1080 画素 又は 1280 × 720 画素)	HA*1 (高画質モード/ 1920 × 1080 画素)	HG*2 (標準画質モード/ 1920 × 1080 画素)	HE*2 (長時間モード/ 1440 × 1080 画素)
512 MB	約 2分	約 3分	約 4分	約 10分
1 GB	約 5分	約 7分	約 9分	約 21分
2 GB	約 10分	約 15分	約 20分	約 45分
4 GB	約 21分	約 30分	約 40分	約 90分
6 GB	約 33分	約 45分	約 60分	約 135分
8 GB	約 45分	約 60分	約 80分	約 180分
12 GB	約 65分	約 90分	約 120分	約 270分
16 GB	約 90分	約 120分	約 160分	約 360分
32 GB	約 180分	約 240分	約 320分	約 720分

*1 PHモードおよびHAモードで記録する場合は、SD スピードクラス4以上のSD メモリーカードをお使いください。SD スピードクラス4未満のSD メモリーカードでは記録できません。

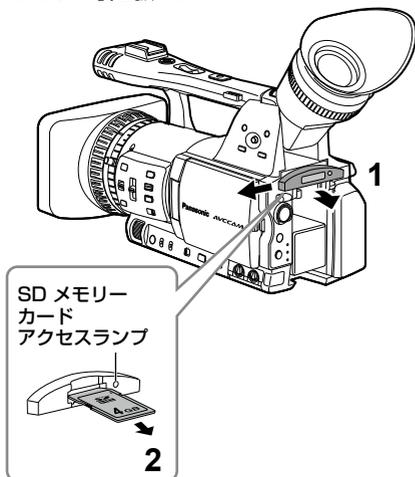
*2 HGモードおよびHEモードで記録する場合は、SD スピードクラス2以上のSD メモリーカードをお使いください。SD スピードクラス2未満のSD メモリーカードでは記録できません。

*3 本機での最高画質モードです。

- 本機はVBR記録方式を採用しております。VBRとはVariable Bit Rate (可変ビットレート)の略で、撮影する被写体によりビットレート(一定時間あたりのデータ量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録できる時間が短くなります。
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- 連続して記録できる時間は最大12時間です。
- 以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。
 - 背景に複雑な絵柄がある場合。
 - 本機を大きくまたは速く動かした場合。
 - 動きの激しい被写体を撮影した場合。(特に記録モードをHEに設定しての撮影時。)
- 記録・削除を何度も繰り返していると、SD メモリーカードの記録時間が短くなる場合があります。その場合は、本機でSD メモリーカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンに保存しておいてください。

SD メモリーカードを取り出す

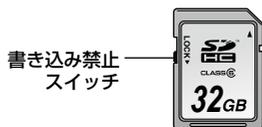
- 1 ビューファインダーを上に戻し、カードスロットカバーを左にスライドさせて開く。
 - SD メモリーカードアクセスランプがオレンジ色に点滅していないことを確認してください。
- 2 SD メモリーカードの中央を押し、少し出たらまっすぐ引き抜く。



- SD メモリーカードが故障する原因となりますので、以下の期間は、カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
 - ① SD メモリーカード挿入後、オレンジ色のカードアクセスランプの点滅が、点灯に変わるまでの間。
 - ② 撮影中や撮影終了処理中など、SD メモリーカードアクセスランプが点滅している間。

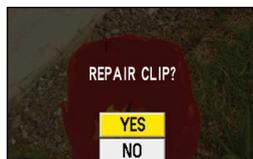
SD メモリーカードの保護について

SD メモリーカードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にします。



SD メモリーカードの修復について

SD メモリーカードの故障の原因になりますので、SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に SD メモリーカードを取り出したり、バッテリーや DC コードを取り出したりしないでください。万が一、SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に SD メモリーカードを取り出した場合や、記録中や記録終了処理中にバッテリーや DC コードを取り外して電源が切れた場合は、エラーを修復するために、次に電源を入れた時に修復を確認する画面が表示されます。



YES を選ぶと修復が始まり、修復が終了すると、「REPAIR FINISHED」が表示され、撮影待機画面になります。

NO を選ぶと修復せずに撮影待機画面になります。

- NO を選んだ場合は、本機で修復できなくなりますが、コンテンツ修復ソフトAVCCAMリストアラー*を使うと修復可能です。

- エラーの発生したSDメモリーカードは、撮影を行ったカメラ本体または、コンテンツ修復ソフトAVCCAMリストアラーを使うと修復可能です。
- エラーの発生していないSDメモリーカードを挿入した場合に、修復確認メッセージが表示されることがありますが、YES,NOのどちらを選択しても修復はされません。

- 修復時間はカードのエラー発生箇所により最大20分前後かかる場合があります。
- 十分に充電されたバッテリーまたは、ACアダプターをご使用ください。
- 修復に失敗すると、SYSTEM ERROR TURN POWER OFFが表示されます。この場合は、コンテンツ修復ソフトAVCCAMリストアラーをお使いください。

データの状況によっては、完全に修復できないことがあります。この場合は、電源が切れる前に撮影したクリップが再生できなくなります。

- 撮影時間が10秒未満のクリップは、修復できない場合があります。

- 撮影中に付加したインデックスは修復されません。
- AVCCAMリストアラーで修復したクリップを本体でサムネール表示する場合、再生フォーマットが異なるとサムネールに「!」が表示されます。再生フォーマットを変更してください。(→ 63ページ)

* AVCCAM リストアラーは同梱の CD-ROM に添付されている、AVCCAM ビューアーをインストールすると、同時にインストールされます。(AVCCAM ビューアーをアンインストールすると AVCCAM リストアラーもアンインストールされます。) インストール方法は InstallJ.txt を参照してください。また詳しい使い方は、取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。下記サイトにおいてもダウンロードすることができます。

<http://panasonic.biz/sav/>

ズーム機能を使う

本機は、13倍光学ズームを備えています。ズームボタン、またはズームリングでズーム動作を行います。

ズームボタン

ZOOMスイッチをSERVO位置にすると、ズームボタンでモータードライブによるズーム動作が行えます。

T: ズームイン

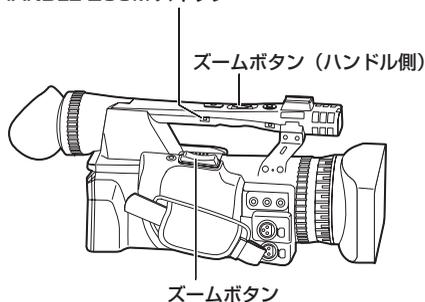
W: ズームアウト

グリップ側のズームボタンを軽く押すと低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。

ハンドル側のズームボタンで行うズーム動作のスピードは、HANDLE ZOOMスイッチで3段階に切り替えることができます。

HANDLE ZOOMスイッチのスピード設定は、設定メニュー SW MODE 画面の HANDLE ZOOM項目で変更できます。(→ 88 ページ)

HANDLE ZOOM スイッチ

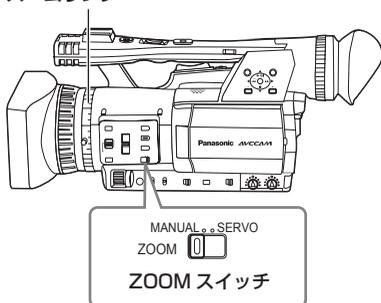


ズームリング

ZOOMスイッチをMANUAL位置にすると、ズームリングで手動によるズーム動作が行えます。

- ZOOMスイッチがSERVO位置の時は手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。

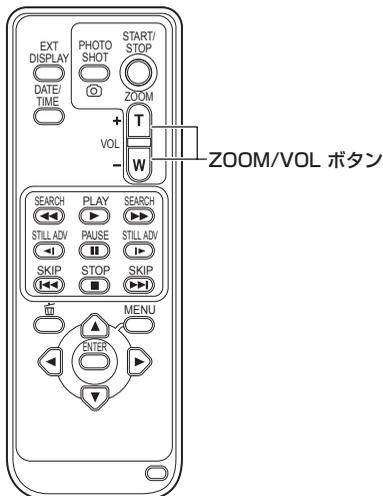
ズームリング



リモコンでの操作

ZOOM/VOL ボタンを押すと、モータードライブでのズーム動作を行います。

- ズームスピードは中速に固定されています。



デジタルズーム機能

USER1 ~ 3 ボタンのいずれかに、D.ZOOMを割り当てることによって、デジタルズーム機能を使うことができます。(→ 43、88 ページ)

D.ZOOMを割り当てたUSERボタンを押すごとに、倍率がOFF (× 1) → 2倍 (× 2) → 5倍 (× 5) → 10倍 (× 10) → OFF (1倍)の順に切り替わります。

- ズーム倍率が大きくなるほど画質が粗くなります。
- OFF (× 1)以外が選択されている時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在の倍率が表示されます。
- 記録フォーマットが1080/60i、720/60Pの時のみ、デジタルズーム機能を使うことができます。
- 設定メニュー SCENE FILE 画面のDRS項目 (→ 87ページ)でOFF以外が選択されている時は、デジタルズーム機能を使うことができません。
- 撮影中は、デジタルズームの切り替えはできません。
- デジタルズーム機能を使用中は、シャッタースピードを1/15、1/30に設定できません。また、シャッタースピードを1/15、1/30に設定している時は、デジタルズーム機能を使用することができません。

プログレッシブモードで撮影する

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (→ 91 ページ) で 1080 モードの 30P、24P を選ぶと、プログレッシブモードで撮影できます。

30P モード :

30コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、30コマ/秒の画像を60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

高画質な映像を得ることができます。

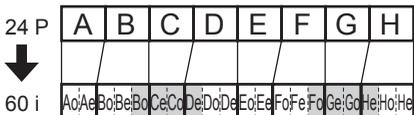


24P モード :

24コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号はネイティブで記録されます。

ただし外部出力は、2:3 変換方式で60フィールドインターレース信号に変換されて出力されます。



プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

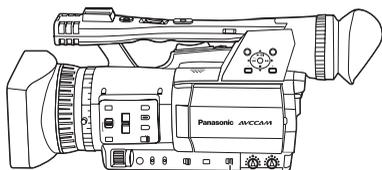
- ゲイン18 dBにはできません。
- シャッタースピードを1/50 (OFF)に設定されることをお勧めします。
- 24Pモードで撮影を行う時は、4フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。

マニュアルモードで撮影する

手動でフォーカス、絞り、ゲイン、およびホワイトバランスを調整する場合は、本機をマニュアルモードにします。

マニュアルモードに切り替える

AUTO/MANUAL スイッチで、MANUAL 側にスライドさせてマニュアルモードに切り替えます。(ビューファインダーや液晶モニターの  表示が消えます)

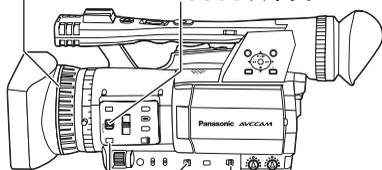


AUTO/MANUAL スイッチ

ピントを合わせる (マニュアルフォーカス)

フォーカスリング

FOCUS スイッチ



PUSH AUTO ボタン

AUTO/MANUAL スイッチ

RING(FOCUS/IRIS) 切替スイッチ

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。

2 FOCUS スイッチでフォーカスの制御方法を切り替えます。

A (AUTO):

オートフォーカスモード
自動的にピントを合わせます。

M (MANUAL):

マニュアルフォーカスモード
フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。

∞ :

ピント距離を無限遠に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。∞ の位置にしても、FOCUS スイッチは、M (MANUAL) の位置に戻ります。

3 RING(FOCUS/IRIS) 切替スイッチでフォーカスリングに割り当てる機能を切り替えます。

FOCUS (フォーカス):

フォーカス (ピント) を調整します。

IRIS (アイリス):

アイリス (絞り) を調整します。

一時的にオートフォーカスモードにする

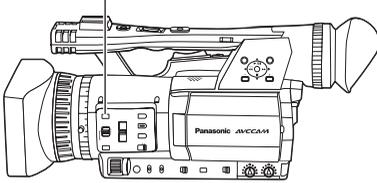
FOCUS スイッチが M (MANUAL) の位置でも、PUSH AUTO ボタンを押している間は、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせることができます。

- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しない時がありますので、照明に適したシャッタースピードを選んでください。(→ 46ページ)
- 60i、60P以外の時にオートフォーカスモードにすると、通常のフォーカスモードの時よりも、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。
- 設定メニュー AUTO SW 画面のAF項目でONが選ばれている場合、オートモードの時はFOCUS スイッチのポジションに関係なくオートフォーカスになります。(→ 90ページ)
- マクロ撮影時は「AF」、「MF」の画面表示が枠付き文字になります。

フォーカスアシストを使う

FOCUS ASSIST ボタンを押すと、画面中央部分が拡大表示、または画面の右上に周波数分布グラフが表示され、ピントを容易に合わせるができるため、マニュアルフォーカス時に便利です。FOCUS ASSIST ボタンを押した時の、ビューファインダーや液晶モニターの画面表示は、設定メニュー SW MODE 画面の FOCUS ASSIST の設定により変更することができます。
(→ 89 ページ)

FOCUS ASSIST ボタン



EXPANDED:

画面中央部分が、縦は約 4 倍、横は約 6 倍に拡大表示されます。

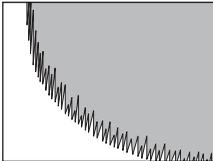
EXPANDED 表示中は、画面に EXPANDED が表示されます。

• 液晶モニター画面では、画角の中心が少しずれて表示されます。

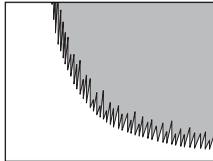
GRAPH:

ビューファインダーや液晶モニターの画面右上に周波数分布グラフが表示されます。

グラフが右に表示されるよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。



ピントが合っていない時



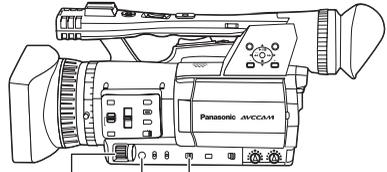
ピントが合ってくると、白い範囲が右に移動する

BOTH:

拡大表示と、グラフの両方が表示されます。

- デジタルズーム機能を使用中は、動作しません。
- もう一度 FOCUS ASSIST ボタンを押すと元の画面に戻ります。
- グラフ表示は、ビューファインダーと液晶モニターの両方に表示できません。ビューファインダーにグラフを表示させるには、液晶モニターを閉じてください。

絞りを調整する



IRIS ダイヤル

IRIS ボタン

RING(FOCUS/IRIS) 切替スイッチ

- 1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 36 ページ)
- 2 IRIS ボタンを押して、レンズ絞りの調整方法を切り替える。
AUTO IRIS: (オートアイリス)
絞り値を自動調整します。
MANUAL IRIS: (マニュアルアイリス)
手でレンズの絞りを調整します。
- 3 マニュアルアイリスになっている時は、IRIS ダイヤルを回して、レンズの絞りを調整する。
 - オートアイリス時は、このダイヤルでレンズの絞りを補正することができます。

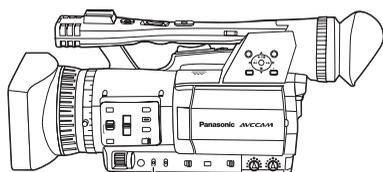
- 設定メニュー SW MODE 画面の IRIS DIAL 項目で、IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定することができます。(→ 88 ページ)
- 設定メニュー AUTO SW 画面の A. IRIS 項目で ON が選ばれている場合、オートモードの時は、強制的にオートアイリスになります。(→ 90 ページ)
- RING(FOCUS/IRIS) 切替スイッチを IRIS に切り替えることによって、フォーカスリングでレンズの絞りを調整することができます。ただし、この時はフォーカスリングでのピント調整ができなくなるため、FOCUS スイッチでフォーカスの制御方法を A (AUTO) に設定してください。(→ 36 ページ)

本機におけるレンズ絞りが開放の時の F 値は、レンズズームの広角側 (W) 端で F1.6、望遠側 (T) 端で F3.0 になっています。

ビューファインダーや液晶モニターに表示されるレンズ絞りが開放の時のアイリス表示には、広角側 (W) 端で OPEN が表示され、望遠側 (T) 端では F3.0 または OPEN が表示されます。

ゲインを調整する

カメラの画面が暗い時は、ゲインを上げ、画面を明るくすることができます。



GAIN スイッチ

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 36 ページ)

2 GAIN スイッチで、ゲインを切り替える。

L:

通常は、この位置にします。(0 dB)

M:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。
(工場出荷時は 6 dB)

H:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。
(工場出荷時は 12 dB)

- MとHのゲイン値は、設定メニュー SW MODE 画面のMID GAIN項目とHIGH GAIN項目で変更することができます。(→ 88ページ)
- 設定メニュー AUTO SW 画面のAGC項目でOFF以外が選ばれている場合、オートモードの時はGAINスイッチのポジションに関係なくオートゲインになります。(→ 90ページ)
- スローシャッター (1/15)の時は、GAINスイッチの位置に関係なく、0 dBに固定されます。(→ 46ページ)

光量調節

外光が強い時 ND FILTER スイッチで、使用する ND フィルター (光量の調節フィルター) を切り替えることができます。

OFF:

ND フィルターを使用しません。

1/4:

光の量を、約 4 分の 1 にカットします。

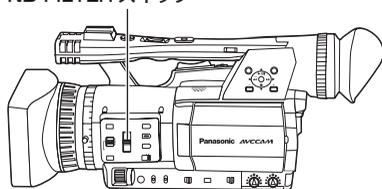
1/16:

光の量を、約 16 分の 1 にカットします。

1/64:

光の量を、約 64 分の 1 にカットします。

ND FILTER スイッチ

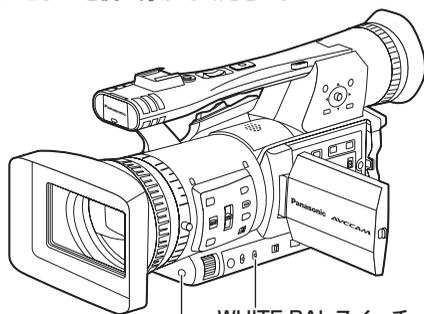


ホワイトバランスを調整する

白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わった時には、必ずホワイトバランスを調整し直してください。

ホワイトバランスの調整値は、WHITE BAL スイッチのAとBの位置にメモリーすることができます。また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。



WHITE BAL スイッチ
AWB ボタン

ホワイトバランスの調整

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 36 ページ)

2 シャッタースピードを設定する。(→ 46 ページ)

3 被写体の照明光源と同じ条件の所にホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写す。

被写体近くの高い物(白布、白壁)を代用することもできます。

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

4 WHITE BAL スイッチを A または B の位置(ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置)にする。

5 AWB ボタンを押す。

- 数秒で調整が完了します。(図のようなメッセージが表示されます。)

調整中のメッセージ

AWB Ach ACTIVE

調整終了時のメッセージ

AWB Ach OK

- ホワイトバランスの自動調整ができていない時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。

調整できない時のメッセージ

AWB Ach NG

- ATW (Auto Tracking White)自動追尾式ホワイトバランス機能が動作している時は、ホワイトバランスの調整ができません。
- 設定メニュー AUTO SW 画面のATW項目で、ONが選ばれている場合、オートモードの時はWHITE BALスイッチのポジションに関係なくATWになります。(→ 90ページ)
- 下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

エラーメッセージ	調整方法
LOW LIGHT	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

- 繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

プリセット値の利用

ホワイトバランスを調整する時間がない時などに便利です。

1 AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(→ 36 ページ)

2 WHITE BAL スイッチを PRST の位置にする。現在のホワイトバランス値が表示されます。

- PRST の位置には、3200K と5600K のホワイトバランス値がメモリーされています。
プリセット値の目安
P3.2K(3200 K): ハロゲンライト
P5.6K(5600 K): 屋外

3 AWB ボタンを押す。

3200K と 5600K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

ブラックバランスの調整

黒を正確に再現するために、RGB 三原色のゼロレベルをそろえます。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- 標準(OFF)のシャッタースピードや遅いシャッタースピードにした時
- プログレッシブモードと標準(60i)モードを切り替えた時

AWB ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整し、さらにこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。

調整中のメッセージ

ABB ACTIVE

調整終了時のメッセージ

ABB END

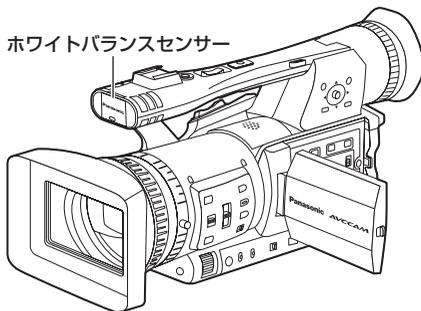
- ATW 機能使用中も、AWB ボタンを押し続けるとブラックバランスの調整ができます。
- 撮影中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

ATW (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイトバランス機能

ATW 機能を使用すると、撮影環境を自動的に判定して、常に最適なホワイトバランスに自動的に調整しながら撮影ができます。設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、WHITE BAL スイッチ (A/B/PRST のいずれかのポジション) に ATW 機能を割り当てることができます。(➔ 88 ページ)

また、工場出荷時の設定では、オートモードで ATW 機能が動くようになっています。(➔ 90 ページ)

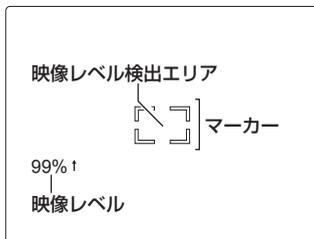
ホワイトバランスセンサー



- 環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。
- 高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、前ページのホワイトバランス調整を行ってください。
- ATW機能を使用しての撮影時には、ホワイトバランスセンサーを手などでふさがらないでください。ATW機能が正常に動きません。

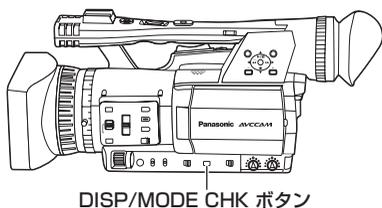
マーカー

ゼブラパターンを表示している時に、ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカーを表示します（設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の MARKER 項目を ON に設定している時）。画面中央付近の明度を数値で確認できます（0%～99%）。99%を超える時は、「99%↑」を表示します。



再度 ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

撮影状態の確認と表示



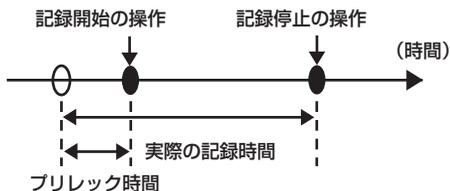
撮影待機または撮影中に DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンを放すと通常の表示に戻ります。

撮影待機または撮影中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、動作状態表示とスタンバイモード、カウンター、マーカー、セーフティゾーン表示以外のすべての表示がオフになります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。（→ 81 ページ）POWER スイッチを OFF にして本機の電源を切る、または動作モードを切り替えても維持されます。

また、PB モードでサムネール画面表示中に、DISP/MODE CHK ボタンを押すと、選択されているクリップのプロパティが表示されます。（クリップの選択は、OPERATION レバーでカーソルを移動させて行います。）

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より約 3 秒前からの映像と音声を記録します。



1 TC/UB SETUP 画面の TCG 項目を FREE RUN に設定する。

- メニューの操作（→ 82 ページ）

2 RECORDING SETUP 画面の PREREC MODE 項目を ON にする。

画面に P-PAUSE が表示されます。

- TC/UB SETUP 画面の TCG 項目が REC RUN に設定されている場合は、自動的に FREE RUN に設定が変更されます。

3 START/STOP ボタンを押す。

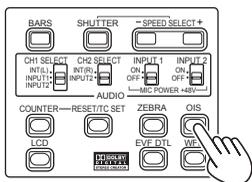
約 3 秒前からの映像と音声を記録します。

- 下記の場合、すぐに記録を開始しても約 3 秒前の映像と音声記録できない場合があります。
 - PB モードから CAM モードへの切り替え直後
 - 電源 ON 直後
 - PREREC MODE 項目を変更した直後
- プリレック機能を使って撮影したクリップのサムネールは START/STOP ボタンを押した時点の画像が表示されます。

手ぶれ補正機能

カメラを手にとって撮影する時は、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。

OIS ボタンで手ぶれ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ぶれ補正が ON の時は、ビューファインダーや液晶モニターに  が表示されます。三脚を使用する時は、手ぶれ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけるながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

映像に効果を加える

BLACKFADE 機能や WHITEFADE 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。再生、REC CHECK、サムネール表示時は強制的にボタンが無効になります。

BLACKFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を黒でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

WHITEFADE :

ボタンを押し続けると映像全体を白でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

USER ボタンの活用

USER1 ~ 3 ボタンには、11 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時に切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

USER1 : WHITEFADE

USER2 : BACKLIGHT

USER3 : INDEX

詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 ~ 3 項目 (→ 88 ページ) を参照してください。

機能を割り当てた USER ボタンを押して動作させた状態で電源を切ると、元の状態に戻ります。

逆光補正

逆光で被写体を撮影する時は、BACKLIGHT 機能を割り当てた USER ボタンを押します。

画面に BACK が表示されます。

逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。

再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。(マニュアルアイリス時は、逆光補正を解除しても逆光補正状態を維持します。)

カラーバー

CAM モードの時に、BARS ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度押すと、元の映像に戻ります。

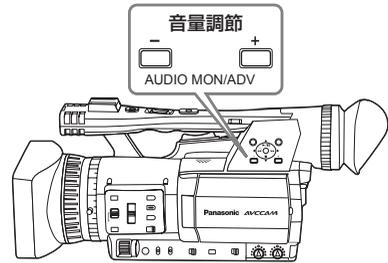
- カラーバー表示中に 1kHz のテストトーンがヘッドホン端子または、AUDIO OUT 端子に出力されます。スピーカー出力はされません。
- START/STOP ボタンを押すと、カラーバーを記録することができます。
- PBモード、PCモード時では、BARS ボタンは無効になります。
- カラーバー表示は電源を切ると解除されます。

ウェーブフォームモニター機能

CAM モード中に WFM ボタンを押すと、液晶モニターに映像の波形を表示することができます。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- 設定メニューのSW MODE 画面のWFM 項目（→ 89ページ）で波形表示とベクトル表示を切り替えることができます。
- ビューファインダーには表示されません。
- フォーカスアシスト機能の動作中は表示されません。
- ウェーブフォームは記録できません。
- ウェーブフォーム表示中は、撮影画面の一部がかくれて見えなくなるため、ビューファインダーを併用してお使いください。

撮影時の音量調整



ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、AUDIO MON/ADV ボタンで音量を調整することができます。

- 入力音声レベルの調整について（→ 49ページ）。
- 調整した音量は、POWER スイッチをOFFにして電源を切った場合に記憶します。

ショットマーク機能

クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといいます。サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示／再生できません。

撮影中、SHOT MARK 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、液晶モニターやビューファインダーに MARK ON と表示され、撮影中のクリップのサムネールにショットマークが設定されます。もう一度押すと解除されます。

また、クリップのサムネール操作でもショットマークの設定／解除が可能です。(→ 62 ページ)

ただし、再生中はショットマークの設定／解除はできません。

- ショットマークの設定／解除ができない時は、INVALIDが表示されます。

インデックス記録

撮影中または再生中のクリップのある映像ポイントに、インデックスを付加する機能です。

撮影中に INDEX 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、そのポイントにインデックス信号が記録されます (→ 43、89 ページ)。

また、再生中にインデックスを付加したり、インデックスを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。(→ 65、66 ページ)

- インデックスは 1 クリップにつき、最大 100 個まで記録できます。
- インデックスが 100 個を超えると付加操作を行っても、INVALID と表示されて付加できません。
- 連続してインデックスを付加する場合は、1 秒以上の間隔をあけて付加してください。1 秒以内に連続して付加操作を行っても、最初の操作しか有効になりません。

タイムスタンプ機能

映像に重ねて、撮影日時を記録することができます。

設定メニューの RECORDING SETUP 画面の TIME STAMP 項目で ON を選びます。

タイムスタンプ機能が ON の時は、ビューファインダーと液晶モニターの日時表示の先頭に [R] が表示されます。

- [R] は、実際の映像には記録されません。
- 撮影フォーマットによって、映像に記録される日時の文字の大きさや位置は異なります。
- 液晶モニターやビューファインダーの表示と外部出力表示では、タイムスタンプの文字サイズと位置が異なります。
- 記録される日時表示は、DISPLAY SETUP 画面の DATE/TIME 項目の設定に従います。OFF に設定している場合は日時表示が記録されません。
- タイムスタンプを記録したクリップを本機で再生する場合は、日時が重なって表示されるのを防ぐために、DISPLAY SETUP 画面の DATE/TIME 項目を OFF にしてください。

LAST CLIP 機能

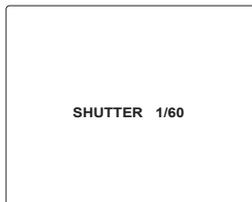
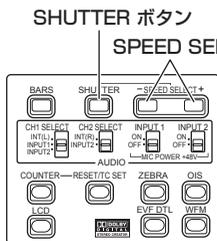
USER 1 ~ 3 ボタンのいずれかに、LAST CLIP を割り当てると、ボタンを押すことで最後に撮影したクリップを削除することができます。

LAST CLIP を割り当てた USER ボタンを押すと、画面に YES/NO が表示されます。

YES を選ぶと最後に撮影したクリップが削除されます。

- クリップを削除しない場合は、NO を選択してください。
- 撮影終了後、PB モードに切り替えた場合や、記録フォーマットを変更した場合はボタンを押しても、クリップは削除できません。また、電源を切って、再度電源を入れた場合も、クリップは削除できません。
- 撮影後に、SD メモリーカードの抜き差しを行った場合は、ボタンを押してもクリップは削除できません。

シャッタースピードを調整する



1 SHUTTER ボタンを押す。
 押すごとに、標準 (OFF) のシャッタースピードと、SPEED SELECT ボタンで選んだシャッタースピードが切り替わります。

2 SHUTTER ボタンを押した後に SPEED SELECT ボタンを押して、シャッタースピードを選ぶ。
 SPEED SELECT+ ボタンを押すごとに、下記の表のようにシャッタースピードが変化していきます (- ボタンは逆順になります)。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動の時には、シャッタースピードが速くなるにつれて絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- シャッタースピードを遅くした場合、合焦時間が長くなるため三脚等に固定して使用することをお勧めします。

- 設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY項目でOFF以外に設定している時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。ただし、標準(OFF)のシャッタースピードに設定されている時は表示されません。
- 人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度が変わっています。特に電源周波数が50 Hz の地域では、本機の垂直同期周波数(約60 Hz)と照明の周波数(50 Hz)がお互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。人工照明下で撮影する時やホワイトバランスを調整する時は、シャッタースピードを下記の設定にして行ってください。

プログレッシブモード	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
OFF (60i)	1/100	OFF (1/60)
30P	OFF (1/50)	1/60
24P	OFF (1/50)	1/60

- スローシャッター 1/15では、0 dBに固定されます。

1080/60i、720/60P の時	
標準 (OFF) 1/60	SYNCRO SCAN ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↔ 1/100 ↔ 1/120 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250
1080/30P、720/30P の時	
標準 (OFF) 1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↔ 1/60 ↓ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
1080/24P、720/24P の時	
標準 (OFF) 1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↓ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120

シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッター速度は、設定メニュー SCENE FILE 画面の SYNCRO SCAN 項目で設定します。

(➡ 86 ページ)

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッター速度を調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- SYNCRO SCAN 項目がグレー表示の場合は、現在の記録フォーマットでは有効になりません。記録フォーマットごとの設定値で動作します。記録フォーマットごとの設定値は以下になります。

60i/60Pモード： 1/60

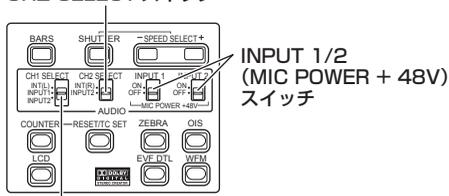
30Pモード： 1/30

プログレッシブモードは、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目 (➡ 91 ページ) で切り替えることができます。

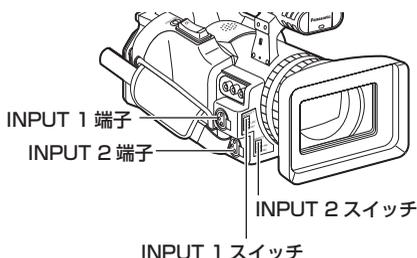
入力音声を切り替える

撮影時は、最大 2 チャンネルの音声を記録することができます。また、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、および接続したオーディオ機器に切り替えることができます。

CH2 SELECT スイッチ



CH1 SELECT スイッチ



内蔵マイクを使う

- 1 CH1 SELECT スイッチを INT (L) の位置にする。
 - 内蔵マイクLchの音声信号が音声チャンネル 1 に記録されます。
- 2 CH2 SELECT スイッチを INT (R) の位置にする。
 - 内蔵マイクRchの音声信号が音声チャンネル 2 に記録されます。

外部マイクやオーディオ機器を使う

- 1 INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に外部マイクまたはオーディオ機器を接続する。
(→ 71 ページ)
- 2 INPUT 1/2 スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える。
LINE: (オーディオ機器を接続した時)
入力レベルは 0 dBu です。
MIC: (外部マイクを接続した時)
入力レベルは - 50 dBu です。
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN1 と MIC GAIN2 項目で入力レベルを - 60dBu に変えることができます。(→ 91 ページ) ただし、- 60dBu に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。
- 3 ファントムマイク (+48 V 電源が必要なマイク) を使用する場合は
INPUT 1/2 (MIC POWER +48V) スイッチを ON の位置にする。
ON: (ファントムマイクを接続した時)
INPUT 1/2 端子に +48V 電源を供給します。
OFF: (ファントムマイクを接続しない時)
INPUT 1/2 端子に電源を供給しません。
 - ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
 - +48 V電源に対応していない機器を接続する時はOFFの位置にしてください。ONの位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。
 - AG-MC200G (別売)をお使いの場合は、MIC GAIN 項目を-50dBuに設定してください。

4 CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 に記録する入力信号を選ぶ。

INT (L):

内蔵マイク Lch の音声を記録します。

INPUT 1:

INPUT 1 端子に接続した機器の音声を記録します。

INPUT 2:

INPUT 2 端子に接続した機器の音声を記録します。

5 CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 に記録する入力信号を選ぶ。

INT (R):

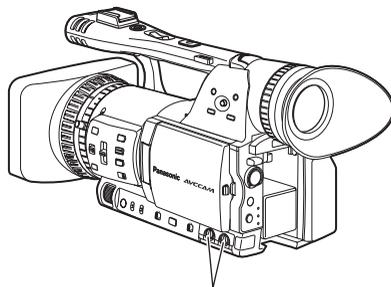
内蔵マイク Rch の音声を記録します。

INPUT 2:

INPUT 2 端子に接続した機器の音声を記録します。

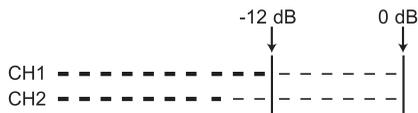
- 外部マイクの信号をCH1とCH2に入力する時は、外部マイクをINPUT 2端子に接続し、CH1 SELECTスイッチとCH2 SELECTスイッチの両方をINPUT 2の位置にしてください。

音声の記録レベルを調整する



AUDIO LEVEL つまみ

AUDIO LEVEL つまみで、内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。(モニター音量の調整については → 44 ページ) 音声信号の記録レベルは、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目 (→ 91 ページ) の設定に関係なく、このつまみで液晶モニター、ビューファインダー左下のオーディオレベルメーターの表示を参考に調整してください。

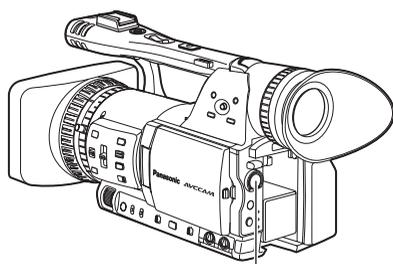


- 撮影前に記録音量レベルを確認してください。
- 記録時、当社放送用カメラレコーダー (品番 AJ シリーズ) と比較すると、約 8 dB 記録レベルが高く設定されています。

撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)

各種撮影状況に応じた設定を、SCENE FILE ダイアルの各ポジションに保存しています。

撮影時、SCENE FILE ダイアルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。



SCENE FILE ダイアル

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

F1: SCENE

標準の撮影に適したファイル。

F2: SCENE FLUO.

蛍光灯の特性を考慮した撮影 (屋内撮影などの撮影) に適したファイル。

F3: SCENE SPARK

解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけた撮影に適したファイル。

F4: SCENE B-STR

暗い部分の階調を広げた撮影 (夕暮れなどの撮影) に適したファイル。

F5: SCENE CINE V

コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。(シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。

→ 91 ページ)

F6: SCENE CINE D

ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。(シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。

→ 91 ページ)

シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。

また、変更したシーンファイルを、SCENE FILE ダイアルの各ポジションに保存することもできます。

例：シーンファイルのファイル名を変更する

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 SCENE FILE ダイアルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ。
- 3 設定メニュー SCENE FILE 画面を選ぶ。
 - メニューの操作(→ 82ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 18ページ)
- 4 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して NAME EDIT 項目を選ぶ。



- 5 OPERATION レバーを押し (または ▶ 方向に倒し)、▲ 方向に倒して YES を選び、再度 OPERATION レバーを押す。



6 下記の画面が表示されたら OPERATION レバーで 6 文字のファイル名を設定する。

ユーザズピットの設定と同じ方法

(→ 58 ページ) で行います。

- 設定できる文字
(スペース)、A～Z、0～9、.;<=>?
@[] ^ _ - . /
ファイル名を設定している時に RESET/TC
SET ボタンを押すと、文字がクリアされま
す。



7 ファイル名の設定が完了したら、OPERATION レバーを押す。

8 確認の画面で YES を選ぶ。

- YESを選ぶと、NAME EDIT画面が終了して変更内容が確定します。
- 変更内容が確定すると、電源をOFFにしたり、シーンダイヤルを変更しても、変更した名前や値は保存されています。

SD メモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SD メモリーカードに保存、読み出すことができます。

- シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータをSD メモリーカードに書き込みます。SD メモリーカードから読み出した時は本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- F1 ~ F6すべてのシーンファイルが書き替わります。

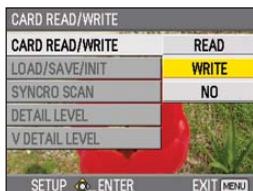
以下の説明は、シーンファイルの保存を基本に説明しています。

1 本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー SCENE FILE 画面の CARD READ/WRITE 項目で WRITE を選んで、OPERATION レバーを押す。

その他の設定値の場合は、USER FILE 画面を選択します。

- メニューの操作(→ 82ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 18ページ)



3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、ファイル番号 (1 ~ 4) を選んで OPERATION レバーを押す。



4 もう一度 OPERATION レバーを押して、下記の画面が表示されたら YES を選び、OPERATION レバーを押す。

- 下図の場合は、TITLE001 がファイル名になります。(ファイル名を変更するには→ 下記)



5 MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

ファイルを読み出すには

- 1) 手順**2**でREADを選んでOPERATIONレバーを押す。
- 2) ファイル番号を選びOPERATIONレバーを押す。
- 3) 確認の画面でYESを選ぶ。
読み込みが完了すると、READ COMPLETEDが表示されます。

ファイルにタイトルを付けるには

- 1) 手順**1** ~ **3**を行う。
- 2) OPERATIONレバーを ▲▼ 方向に倒して文字を選び ► 方向に倒して次の文字に移動する。
入力できる文字は以下のとおりです。
(スペース)、A ~ Z、0 ~ 9、.; < = > ? @ [] ^ _ - . /
- 3) すべての入力が終わったら、OPERATIONレバーを押す。
- 4) 確認の画面でYESを押す。

-
- WRITE NG WRITE PROTECTが表示された場合は、SD メモリーカードのプロテクトを解除してください。
 - WRITE NG CANNOT ACCESSが表示された場合は、その他の動作(再生中など)を終了してから操作してください。
-

クリップメタデータについて

SD メモリーカードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。
(表示の方法は → 68 ページ)

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機に読み込むものがあります。
(クリップメタデータの読み込み方法は → 次ページ)

クリップメタデータの内容

下線の項目は、SD メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は撮影時に自動的に設定されます。

GLOBAL CLIP ID:

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。

USER CLIP NAME :

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO & AUDIO:

記録映像の FRAME RATE (フレームレート)、RESOLUTION (解像度)、PULL DOWN (プルダウン方式)、AUDIO (記録音声) を表示します。

ACCESS:

CREATOR (収録者名)、CREATION DATE (収録日)、LAST UPDATE DATE (最終更新日)、LAST UPDATE PERSON (最終更新者) を表示します。

DEVICE:

MANUFACTURER (機材のメーカー名)、SERIAL NO. (機材のシリアルナンバー)、MODEL NAME (機材のモデル名 : AG-HMC150) を表示します。

SHOOT:

SHOOTER (撮影者名)、PLACE NAME (撮影地の名前) を表示します。

LOCATION:

ALTITUDE (撮影地の高度)、LONGITUDE (撮影地の経度)、LATITUDE (撮影地の緯度)、SOURCE (情報源) を表示します。

SCENARIO:*2

PROGRAM NAME (番組名)、SCENE NO. (シーンナンバー)、TAKE NO. (テイクナンバー) を表示します。

NEWS 1:

REPORTER (リポーター名)、PURPOSE (取材目的) を表示します。

NEWS 2:

OBJECT (取材対象) を表示します。

MEMO:*3

PERSON (テキストメモの記録者)、TEXT (テキストメモの内容) を表示します。

- *1 メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、カード単位に、最初に撮影したクリップを 0 として、撮影順に 5 桁の連番を付加していきます。USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは 54 ページをご参照ください。
- *2 SCENARIO を入力する時は、必ず PROGRAM NAME を入力してください。SCENE NO.、TAKE NO. のみの入力できません。
- *3 MEMO を入力する時は、必ず TEXT を入力してください。PERSON のみの入力できません。

- 本機では、ASCII文字のみ表示可能です。日本語の表示はできません。
- 本機では、文字数の表示制限があるためすべてのデータを表示できません。(データが消えているわけではありません。)すべてを確認するにはAVCCAMビューアーなどをご使用ください。
- メタデータは、AVCCAMビューアーで作成することができます。(→ 110ページ)

メタデータのアップロードなどを行う (META DATA)

以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

メタデータの読み込み

- メタデータを記録したSD メモリーカードを本機に挿入してください。(クリップメタデータの内容 → 前ページ)

メタデータをSD メモリーカードに記録する / しないの選択

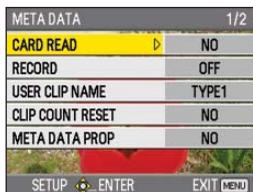
本機内メタデータの初期化

本機内メタデータの表示

- 動作モードボタンを押してCAMモードにする。
- MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (→ 82 ページ)
- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して META DATA を選び、OPERATION レバーを押す (または ► 方向に倒す)。



- OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



CARD READ:

SD メモリーカードにセットしたメタデータを本機に読み込みます。

LOAD に移動した状態で OPERATION レバーを押して、読み込みする / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

- SD メモリーカードのメタデータは、作成日が新しい順に10個まで表示できます。

- 読み込むメタデータファイル名が半角英数字以外の場合は*に変換されて表示されます。

RECORD:

本機に読み込むメタデータを同時に SD メモリーカードに記録するかどうかを設定します。

記録する / しない (ON/OFF) を選び、OPERATION レバーを押してください。
工場出荷モードは OFF です。

USER CLIP NAME:

USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは下記をご参照ください。

CLIP COUNT RESET :

カウンター値を 1 にリセットします。
リセットする / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

META DATA PROP :

本機に記録されたメタデータを表示します。

META INITIAL SET :

本機に記録されたメタデータを初期化します。
初期化する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

- MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。

USER CLIP NAME の記録方法の選択

MENU ボタンを押して META DATA → USER CLIP NAME を選択すると、USER CLIP NAME の記録方法を選ぶことができます。TYPE1 と TYPE2 の 2 通りがあります。

記録される USER CLIP NAME

	TYPE1	TYPE2
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ	アップロードされたデータ + COUNT 値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	5 桁の撮影順の連番	5 桁の撮影順の連番

* COUNT 値は、4桁の数字で表示されます。
COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法をTYPE2に設定した状態の時、撮影を行って新しいクリップを生成することに、1ずつ増えます。
またCOUNT 値は、以下の方法でリセットできます。
MENU ボタンを押して META DATA → CLIP COUNT RESET → YES を選んで OPERATION レバーを押すと、COUNT 値が1にリセットされます。



カウンターを利用する

カウンター表示

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。

1 COUNTER ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。(→ 76 ページ)

0 : 00. 00 (CAM モードのみ)

カウンター値の表示

CLIP 0 : 00.00

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合に表示されます。

撮影開始時に自動的に値がリセットされ、撮影ごとのカウンター値が表示されます。

TC 12 : 34 : 56 . 01

タイムコードの表示 (24P に設定している時は、フレーム桁を 24 フレームで表示します。それ以外の設定では、フレーム桁を 30 フレームで表示します)

UB 12 34 56 78

ユーザーズビットの表示

無表示 :

データを表示しません。

カウンター値をリセットする

カウンター値を表示中に、RESET/TC SET ボタンを押します。

TC プリセットモード

マルチカメラで撮影する時に、タイムコードの初期値を同期にセットさせることができます。(以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。)

1 2 台の機器の TC PRESET IN/OUT 端子 (VIDEO OUT 端子) をピンケーブルで接続し、電源を入れます。

■ MASTER 側の設定

2 MASTER 側が CAM モードになっていることを確認して設定メニュー TC/UB SETUP 画面の EXT TC LINK 項目を MASTER に設定します。

画面に OUTPUTTING LTC SIGNAL と表示され、TC PRESET IN/OUT 端子 (VIDEO OUT 端子) からタイムコードが出力されます。

- MASTER側とSLAVE側のカメラの、記録フォーマットを合わせ、TC/UB SETUP 画面の TCG 項目を FREE RUN に設定してください。
- タイムコード出力を解除する場合は MENU ボタンを押してください。

■ SLAVE 側の設定

3 設定メニュー TC/UB SETUP 画面の EXT TC LINK 項目を SLAVE に設定します。

4 COUNTER - RESET/TC SET ボタンを押します。MASTER から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。

- メニュー画面が閉じて、画面中央に TC LINK OK と約 2 秒間表示されます。
- TC 値が正しくセットできない場合は、LINK NG と表示されます。
- SLAVE 側が 24P に設定されている時は、MASTER 側の TC MODE 項目を NDF に設定してください。
- SLAVE モードを解除する場合は MENU ボタンを押してください。

内蔵電池の充電 / タイムコードを設定する

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。

日時設定しても、LOW INTERNAL BATTERY（内蔵電池の残量がありません）が表示される時は、内蔵電池が消費しています。以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続する。

(→ 20 ページ)

- 本機のPOWERスイッチは、OFFのままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。

- 内蔵電池が充電されます。
- 充電を行った後は、タイムコードやメニューを確認してください。

充電後も年月日、時刻が記憶されていない場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

タイムコードを設定する

設定メニュー TC/UB SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(→ 92 ページ)

- TC MODE項目
- TCG項目
- TC PRESET項目

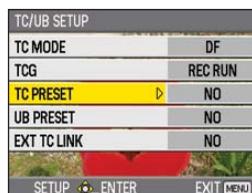
タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)

任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

1 本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー TC/UB SETUP 画面の TC PRESET 項目を選択する。

- メニューの操作(→ 82ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 18ページ)



3 OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



- 4** 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。
OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、タイムコード値を選択します。



OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して次の桁に移動し、再度、▲▼ 方向に倒して値を選択します。

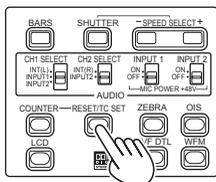


本機では、フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。そのためフォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでご注意ください。

記録フォーマット	タイムコードの調整
1080/24P 720/24P	4 フレーム単位



タイムコードを設定している時に RESET/TC SET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



本体

- 5** タイムコード値の設定が完了したら OPERATION レバーを押す。
- 6** OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



ユーザーズビットを設定する

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ情報を記録することができます。
ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

- 1 本機の POWER スイッチを ON にする。
- 2 設定メニュー TC/UB SETUP 画面の UB PRESET 項目を選択する。
 - メニューの操作(⇒ 82ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(⇒ 18ページ)



- 3 OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



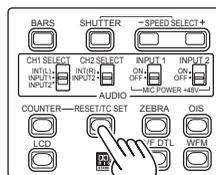
- 4 ユーザーズビットを設定する。
OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、ユーザーズビットの文字を選択します。
 - 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の0～9とアルファベットのA～Fです。



OPERATION レバーを ► 方向に倒して次の桁に移動し、再度、▲▼ 方向に倒して文字を選択します。



ユーザーズビットを設定している時に、RESET/TC SET ボタンを押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。

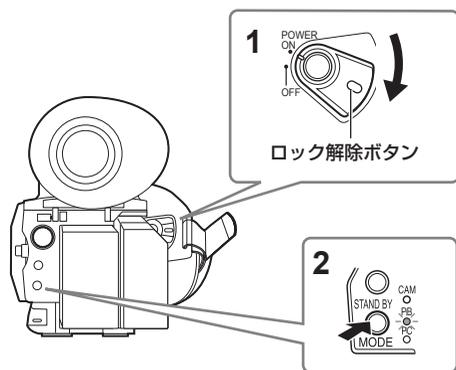


本体

- 5 ユーザーズビットの設定が完了したら OPERATION レバーを押す。
- 6 OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。



再生の基本操作



- 1 POWER スイッチを ON にする。
ロック解除ボタンを押しながら POWER スイッチを ON の位置まで動かします。
- 2 動作モードボタンを押して、PB ランプを点灯させる。
本機が PB モードになります。
 - 押すたびに、以下のように切り替わります。
PB ⇄ CAM
PB の後に動作モードボタンを長押しすると、PC (パソコン接続) モードになります。
(→ 74 ページ)

サムネールを使ったクリップの再生について詳しくは → 63 ページをご覧ください。

	本機の操作ボタン	リモコン
	<p>再生する (▶) 押すと、カーソルがある位置のクリップが再生されます。</p>	
	<p>早送り再生をする (▶▶) 再生中に操作すると、早送り再生します。 (約 5 倍速*) * PB FORMAT が 720/24P の場合は、約 6 倍速になります。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ進めます。</p>	
	<p>早戻し再生をする (◀◀) 再生中に操作すると、早戻し再生します。 (約 5 倍速*) * PB FORMAT が 720/24P の場合は、約 6 倍速になります。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ戻します</p>	
	<p>停止する (■)</p>	
	<p>一時停止する () 再生中に操作すると、一時停止します。 再度操作すると、再生に戻ります。</p>	

サムネール画面について

1回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。PB モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。(クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。)

サムネール画面を使って、以下のようなことができます。

- クリップの再生、削除
- SD メモリーカードのフォーマット
- インデックスの付加、削除
- ショットマークの付加、解除

サムネール画面の基本操作

サムネールを選ぶには：

OPERATION レバーを ▲▼◀▶ 方向に倒してサムネールを選びます。(黄色の枠が移動)



クリップを再生するには：

サムネールを選んで OPERATION レバーを押す。
(再生について詳しくは → 63 ページ)



1 サムネールの表示状態 (→ 65 ページ)

サムネール表示するクリップの種類を示しています。

2 リピート再生インジケータ (→ 63 ページ)

リピート再生時に表示します。

3 カード状態表示

SD メモリーカードの状態を表示します。

4 バッテリー残量表示 (→ 19 ページ)

バッテリーの残量を表示します。

5 カーソル (黄色の枠)

選択中のサムネールに表示されます。

6 記録モード表示

カーソル位置のクリップが PH モードで撮影されたクリップの場合に、記録モードが表示されます。

7 記録フォーマット表示

カーソルがある位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

8 デュレーション表示

カーソルの位置のクリップのデュレーションが表示されます。

9 時間表示 (→ 65 ページ)

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード／クリップの記録開始時点のユーザーズビット／撮影時刻／撮影日／撮影日時のいずれかを表示します。

10 クリップ番号

撮影した順番に表示されます。(1000 クリップまで) 記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。

赤色のクリップを再生するには、設定メニュー PLAY SETUP 画面の PB FORMAT 項目を、記録フォーマットに合わせてください。

(→ 63 ページ)

11 : クリッププロテクト表示

プロテクトされたクリップに表示します。

12 各種インジケータ**: ショットマーク**

ショットマークが付いていることを示しています。(→ 次ページ)

: インデックス

インデックスが付加記録されていることを示しています。(→ 66 ページ)

: レジューム再生表示

レジューム再生の対象になるクリップに表示します。

- サムネールに「」が表示されたクリップは再生できません。
- AVCCAM リストアラーで修復したクリップを本体でサムネール表示する場合、再生フォーマットが異なるとサムネールに「」が表示されます。再生フォーマットを変更してください。(→ 63 ページ)

クリップにショットマークを付ける

ショットマーク (M) を付けておくと、好みのクリップを探すのに便利です。

1 OPERATION レバーを ▲▼◀▶ 方向に倒して、黄色の枠をショットマークを付けたいクリップに移動させる。

2 ショットマーク機能を割り当てた USER ボタンを押す。(➔ 89 ページ)

ショットマークを解除するには、上記の操作を再び行ってください。

- 民生用カメラ機器で撮影したクリップには、ショットマークを付加することができません。

ダイレクト撮影機能について

PB モードの時に START/STOP ボタンを押すと、自動的に CAM モードに切り替わり、撮影が始まります。

再生の設定をする (PLAY SETUP)

再生するフォーマットや再生の方法を設定します。

再生フォーマットを設定する (PB FORMAT)

再生するフォーマットを設定します。

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (→ 82 ページ)
- 2 PLAY SETUP 画面の PB FORMAT 項目を選び、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。



- 3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、再生するフォーマットを選び、OPERATION レバーを押す。

設定できるフォーマット：

1080/60i(30P)、1080/24P、
720/60P(30P)、720/24P

- 初期値は、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目の設定が反映されます。

- 4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。
 - 再生可能なクリップのクリップ番号が黒色で、再生できないクリップ番号は赤色で表示されます。

再生フォーマットを設定しても、CAM モードに切り替えると、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定された再生フォーマットに戻ります。

リピート再生 (REPEAT PLAY)

設定すると、再生可能なすべてのクリップを繰り返し再生します。

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (→ 82 ページ)
- 2 PLAY SETUP 画面の REPEAT PLAY 項目を ON にする。
- 3 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。
リピート再生インジケータが表示されます。再生操作をすると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
 - 停止操作をするまで、繰り返し再生を行います。
 - リピート再生の設定を OFF にするには、手順 2 で OFF を選んでください。

再生の設定をする (PLAY SETUP) (つづき)

続きから再生する (RESUME PLAY)

設定すると、再生を途中で止めた場合に続きから再生します。

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (➔ 82 ページ)
- 2 PLAY SETUP 画面の RESUME PLAY 項目を ON にする。
- 3 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。
- 4 クリップを選んで再生する。
再生を途中で止めた場合は、クリップのサムネールにレジューム再生インジケータが表示され、次に再生操作をすると続きから再生します。
 - レジューム再生の設定をOFFにするには、手順2でOFFを選んでください。

スキップの方法を設定する (SKIP MODE)

一時停止中にスキップ (頭出し) 操作をした時の動作を設定します。

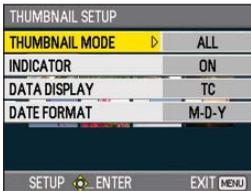
- 1 MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (➔ 82 ページ)
- 2 PLAY SETUP 画面の SKIP MODE 項目を選択する。
- 3 スキップの方法を選択する。
CLIP :
一時停止中に OPERATION レバーを ◀ または ▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭に移動します。
CLIP & INDEX :
一時停止中に OPERATION レバーを ◀ または ▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭と、前後の INDEX の位置に移動します。
- 4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

サムネールの操作

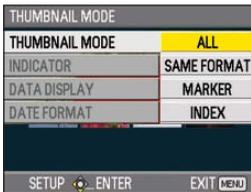
サムネールの表示方法を選ぶ (THUMBNAIL SETUP)

好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。
また、サムネール表示のしかたをさらに細かく設定することもできます。

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューの操作 (→ 82 ページ)
- 2 THUMBNAIL SETUP 画面を選び、
OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。



- 3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



THUMBNAIL MODE:

表示するクリップを選びます。

ALL:

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT:

PB フォーマットと同じクリップを表示します。

MARKER:

ショットマークが付いたクリップを表示します。

INDEX:

インデックスが付いたクリップを表示します。

INDICATOR:

インジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を設定します。(工場出荷時は ON に設定されています。)

OFF に設定しても、クリッププロテクト表示とレジューム再生表示は表示されます。

DATA DISPLAY:

クリップの時間表示の部分を、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時間 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日時 (DATE & TIME) のいずれかから選択します。

DATE FORMAT:

記録日時の表示順を、年月日 (Y-M-D) / 月日年 (M-D-Y) / 日月年 (D-M-Y) のいずれかから選択します。

この表示は、クリップのプロパティで表示される記録日に反映されません。

- 4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

クリップの削除やプロテクトなどを行う (OPERATION)

クリップの削除やプロテクト (保護) が行えます。

- 1 MENU ボタンを押す。**
メニューの操作 (➔ 82 ページ)
- 2 OPERATION 画面を選び、OPERATION レバーを押す (または▶方向に倒す)。**



- 3 OPERATION レバーを▲▼方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。**



DELETE:

ALL CLIPS:

すべてのクリップを削除します。
削除する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

SELECT:

選択したクリップを削除します。
OPERATION レバーでクリップを選ぶと選んだクリップがオレンジ色の枠で囲まれます。(続けて選択できます。)

EXEC ボタンを押して決定し
OPERATION レバーを▲▼方向に倒して削除する / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバーを押してください。

NO:

1 つ前の画面に戻ります。

- プロテクトされているクリップは削除できません。
- ALL CLIPSを選んですべてのクリップを削除する時は、削除する容量によって時間がかかる場合があります。
- リモコンで削除操作はできません。

INDEX:

YES:

選択したクリップにインデックスを付加します。

- クリップを選んで再生し、インデックスを付加するポイントで OPERATION レバーを押します。



- 確認の画面で YES を選ぶとインデックスが付加されます。

クリップにインデックスが付加されるポイントには、0.5 秒程度の誤差が発生します。

インデックスを削除する場合は手順 **3** で INDEX → YES を選んだ後

- クリップを選んで再生し、OPERATION レバーを▲方向に倒して、一時停止状態にする。
- OPERATION レバーを◀▶方向に倒すと、インデックスが付加されたポイントに、ポインターが移動するので、削除するインデックスに、ポインターを移動させて OPERATION レバーを押す。
- 確認の画面で YES を選ぶ。

NO:

1 つ前の画面に戻ります。

- 民生用カメラ機器で撮影した映像には、インデックスを付加することができません。
- インデックス再生中は、音量調整ができません。

CLIP PROTECT:

YES:

- 選択したクリップをプロテクトします。
(**On** マークが表示されます。)
 - ・プロテクトされたクリップを選択すると解除します。(On マークが消えます。)
- クリップがプロテクトされていても、フォーマット (→ 下記) を実行すると消去されます。

NO:

1 つ前の画面に戻ります。

4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

カードのフォーマットやクリップやカードの情報を確認する (CARD FUNCTIONS)

SD メモリーカードのフォーマットを行ったり、クリップや SD メモリーカードの情報が確認できます。

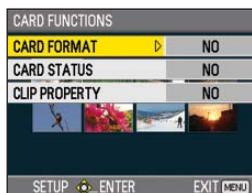
1 MENU ボタンを押す。

メニューの操作 (→ 82 ページ)

2 CARD FUNCTIONS を選び、OPERATION レバーを押す (または ▶ 方向に倒す)。



3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



CARD FORMAT :

- フォーマットするカードを本機に挿入してください
- SD メモリーカードをフォーマットします。実行するとすべてのデータが消去されます。フォーマットする / しない (YES/NO) を選び、OPERATION レバー を押してください。

CARD STATUS:

SD メモリーカードの情報が表示されます。
(→ 次ページ)

CLIP PROPERTY:

選択したクリップの情報が表示されます。
(→ 次ページ)

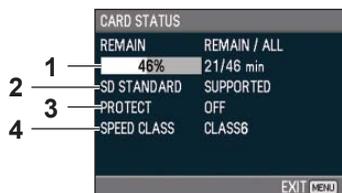
- OPERATIONレバーを ◀▶ 方向に倒すと前後のクリップの情報を表示できます。

4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

(次ページへつづく)

サムネールの操作 (つづき)

SD メモリーカードの情報画面



1 REMAIN :

SD メモリーカードの残量を表示します。

2 SD STANDARD :

SD メモリーカードが SD および SDHC 準拠でフォーマットされている / いない (SUPPORTED/NOT SUPPORTED) を表示します。

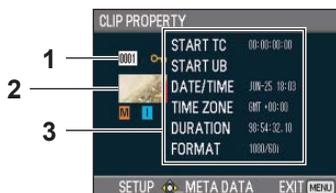
3 PROTECT :

SD メモリーカードの書き込み禁止状態を表示します。

4 SPEED CLASS :

SD メモリーカードのスピードクラスを表示します。

クリップの情報画面



1 クリップ番号

2 サムネール (サムネール画面について → 60 ページ)

3 クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータや、さまざまなデータを表示します。

START TC: 記録開始時のタイムコードの値

START UB: 記録開始時のユーザービットの値

DATE/TIME: 記録した日付と記録開始時の時刻

TIME_ZONE: タイムゾーンを表示します。

DURATION: クリップの長さ

FORMAT: 記録フォーマット

4 クリップメタデータ

クリップの情報画面を表示している時に、OPERATION レバーを押すと映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。

OPERATION レバーを ▲▼ に倒して、見たい情報を確認してください。(クリップメタデータの内容については 53 ページをご覧ください)

再生に便利な機能

早送り / 早戻し再生

- 1 再生中に、OPERATION レバーを ◀◀ (早戻し) または ▶▶ (早送り) 方向に倒す (またはリモコンの SEARCH ボタンを押す)。約 5 倍速 * で早送り / 早戻し再生します。
* PB FORMAT が 720/24P の場合は、約 6 倍速になります。



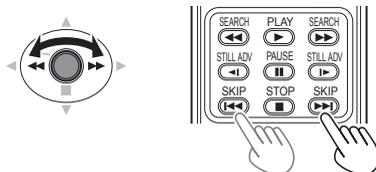
本体 または リモコン

通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを ▲ 方向 (再生) に倒します (またはリモコンの PLAY ボタンを押す)。

- 早送り再生で最後のクリップの再生を終了するとサムネール表示に戻ります。
- 早戻し再生で先頭のクリップの再生を終了するとサムネール表示に戻ります。
- 早送り / 早戻し再生中は音声出力されません。

クリップ送り / 戻し

- 1 再生中に、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、一時停止状態にする (またはリモコンの PAUSE ボタンを押す)。
- 2 OPERATION レバーを ◀◀ (早戻し) または ▶▶ (早送り) 方向に倒す (またはリモコンの SKIP ボタンを押す)。

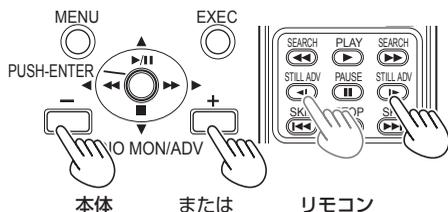


本体 または リモコン

- 先頭のクリップの先端または、最後のクリップの終端に移動後はサムネール表示に戻ります。

コマ送り再生

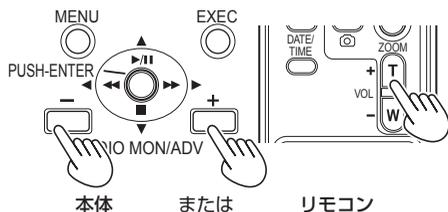
- 再生中に、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、一時停止状態にする (またはリモコンの PAUSE ボタンを押す)。
- AUDIO MON/ADV ボタンを押す (またはリモコンの STILL ADV ボタンを押す)。
 - 押し続けると、押ししている間、連続してコマ送りします。
 - リモコンのSTILL ADV ボタンを押しつづけると連続コマ送りモードになります。元に戻すにはPAUSE ボタンを押してください。



+ ボタンを押すと正方向にコマ送りされ、- ボタンを押すと逆方向に 0.5 秒ごとの映像がコマ送りされます。通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを ▲ 方向 (再生) に倒します (またはリモコンの PLAY ボタンを押す)。

音量を調整する

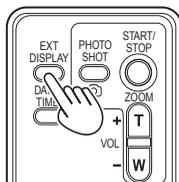
- 再生中に AUDIO MON/ADV ボタンで、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量を調整する。
リモコンの場合、ZOOM/VOL ボタンを押します。



テレビに接続して見る

AV コード (別売)、HDMI ケーブル (別売)、またはコンポーネント映像ケーブル (付属) を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

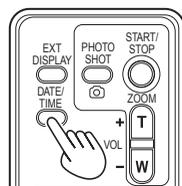
- 本機とテレビを接続する。(→ 72 ページ)
- 本機を再生する。
 - ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示する時は、リモコンのEXT. DISPLAY ボタンを押します。
再度、EXT. DISPLAY ボタンを押すと、表示が消えます。



撮影日時を確認する

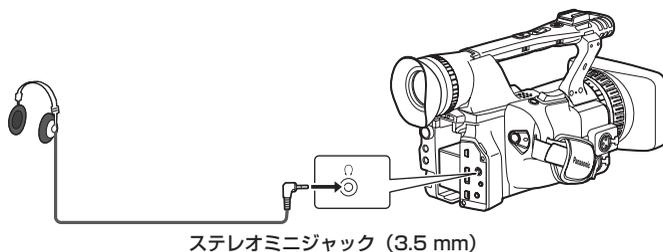
リモコンの DATE/TIME ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

- 時刻の表示
- ↓
- 日付の表示
- ↓
- 時刻と日付の表示
- ↓
- 表示なし



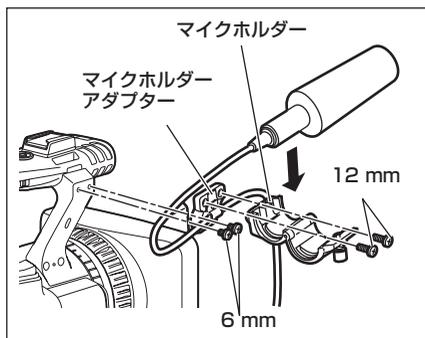
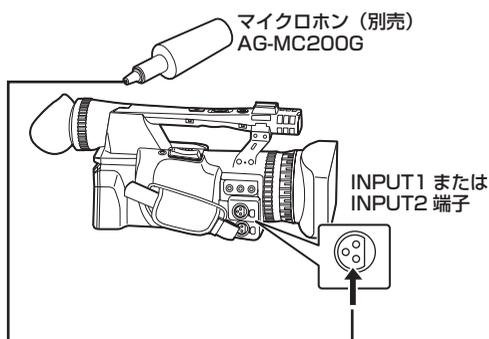
外部機器を接続する

ヘッドホン



- ヘッドホン(別売)を接続するとスピーカーから音声は出力されません。

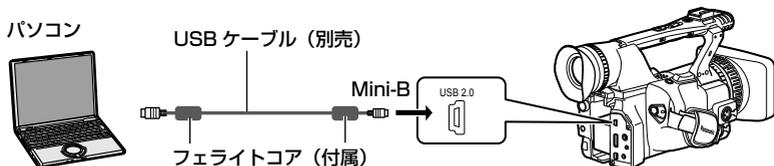
外部マイク



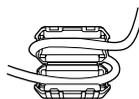
- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。
- マイクホルダーおよびマイクホルダーアダプターをネジで取り付ける際、ゴムとの摩擦音がしますが、しっかりと締め付けてください。

外部機器を接続する (つづき)

パソコン (ノンリニア編集 / ファイル転送)

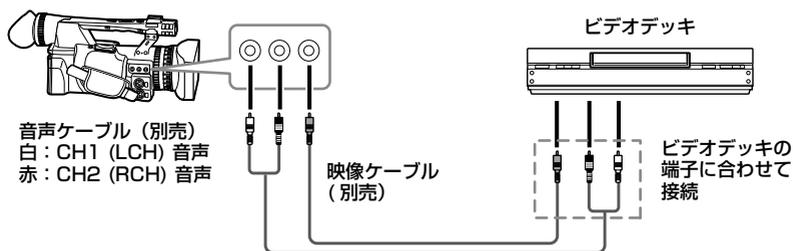


- パソコンの条件等については → 74ページ
- USBケーブルでパソコンと本機を接続する場合は、パソコンの端子と本機の端子からそれぞれ5 cm程度に収まるように、USBケーブルにフェライトコア(付属)を取り付けてください。ケーブルを右図のように巻きつけた後、「パチッ」と音がしてロックするまでフェライトコアを閉めてください。
- フェライトコアは、落下などの衝撃によって割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。
- USBケーブルは、3 m以内のダブルシールドケーブルをご使用ください。



ビデオデッキ (ダビング)

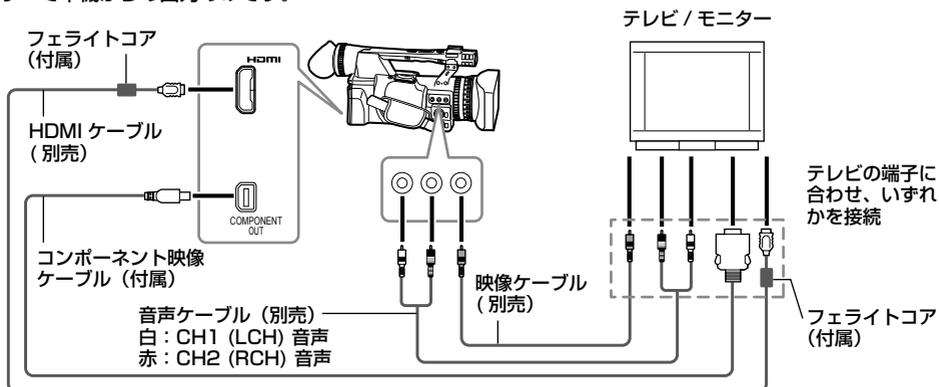
映像と音声は、本機からの出力のみです。



■ 本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

テレビ / モニター

すべて本機からの出力のみです。

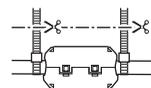


■本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- HDMIケーブルでテレビ/モニターと本機を接続する場合は、テレビ/モニターの端子と本機の端子からそれぞれ5 cm程度に収まるように、HDMIケーブルにフェライトコア(付属)を取り付けてください。ケーブルに右図のように取り付けした後、「パチッ」と音がしてロックするまで閉めてください。



- フェライトコアがケーブルの前後に動いて固定できない場合は、フェライトコアの前後にバンダーを取り付けて固定してください。バンダーは、はさみでカットするなどして長さを調節してください。



- フェライトコアは、落下などの衝撃によって割れやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。
- HDMIケーブルは当社製HDMIケーブルを推奨します。
- HDMIケーブルと映像ケーブルを同時に接続すると、HDMIの出力が優先されます。同時出力はできません。
- ビエラリンクには対応していません。
- AV OUT SETUP 画面のHDMI OUT SEL 項目をFIXに設定すると、HDMI OUT端子とCOMPONENT OUT端子から同時に出力することができます。

■HDMI 出力と COMPONENT OUT、VIDEO OUT 同時出力一覧

○：出力可、×：出力不可

HDMI ケーブル接続	HDMI OUT SEL 項目の設定	COMPONENT OUT 端子出力	VIDEO OUT 端子出力
ケーブルを接続し、モニターに出力している	AUTO	×	×
	FIX	○ *1	×
		×	○ *2
ケーブルを接続していない	480P	×	×
		○ *1	×
		×	○ *2

*1 コンポーネント映像ケーブル接続時

*2 コンポーネント映像ケーブル未接続時

- COMPONENT OUT端子とVIDEO OUT端子は同時に出力できません。

ノンリニア編集をする (PC モード)

編集用のパソコンと USB ケーブルで接続して、SD メモリー カード内の映像データをノンリニア編集することができます。(接続 → 72 ページ)
十分に充電されたバッテリーまたは、AC アダプターをご使用ください。

USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。

- Windows XPまたはWindows Vista を搭載したパソコン、またはIntel製CPUを搭載した Macintosh (Intel Mac)
- USB2.0 (High Speed、MassStorageClass)対応(USB1.1 は対応していません)
- パソコンは1台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。

1 SD メモリーカードを本機に挿入し、POWER スイッチを ON にする。

2 動作モードボタンを押して PB ランプを点灯させ、さらに長押し (2秒以上) する。 PC ランプが点灯し、PC モードになります。

3 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する。 接続する前にパソコンの電源を入れてください。



- USBケーブルが接続されていない時は、CHECK USB CABLEと表示されます。

4 パソコンでノンリニア編集を行う。

パソコンのマイコンピュータまたはデスクトップに、SD メモリーカードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。(→ 110 ページ)

(例) Windows の場合



リムーバブルディスク (E:)

(例) Macintosh の場合



NO NAME

- 本機のファイルをパソコンにコピーする時は、ファイルの上書きなどに十分注意して操作を行ってください。
- 詳しくは、パソコン側の編集ソフトの説明をご覧ください。
- カードを入れ替える場合は、アクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してください。
- PC モードの間は、本機の操作が行えません。
- ケーブルを抜く時は、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
- SD メモリーカードスロットカバーが開いていると、SD メモリーカードにアクセスできません。

5 本機の電源を切る。

- パソコンで本機が正しく認識できない時は、以下の方法で認識できる場合があります。
 - 本機とパソコンの電源を切ってから再度電源を入れてください。
 - 本機からSD メモリーカードを取り出し、再度挿入してください。
 - パソコンの他のUSB端子に接続してください。
- USBケーブルを取り外した後、動作モードボタンを長押しすると、PB モードに切り替わります。

ダビングをする

ブルーレイディスクレコーダーを使ってダビングする

当社製 BD レコーダーに本機で撮影した SD メモリーカードを入れて、ブルーレイディスクや DVD、HDD に保存することができます。

本機で撮影したビデオを保存できる機器

(2008 年 7 月現在)

- BD レコーダー /DMR-BW700*1
- BD レコーダー /DMR-BW800*1
- BD レコーダー /DMR-BW900*1
- BD レコーダー /DMR-BR500*2

HDD またはブルーレイディスク (BD-RE, BD-R)、DVD にダビングすることができます。

*1 SD カードにあるハイビジョン動画を直接再生することはできません。

*2 SD カードにあるハイビジョン動画を直接再生することができます。

- ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BDレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 本機で撮影したビデオをブルーレイディスク (BD-RE, BD-R) または HDD、DVD へダビングすると、本機のサポートしているメタデータ情報が失われます。
メタデータ情報を含めたダビングが必要な場合は、専用のソフトウェア AVCCAM ビューアーをお使いください。(➡ 110ページ)

1 本機から撮影済みの SD メモリーカードを取り出す。

本機の電源を「OFF」にしてから、SD メモリーカードを取り出してください。

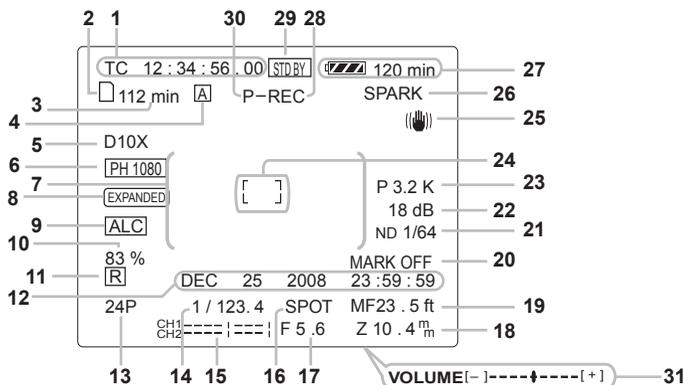
2 SD メモリーカードを BD/DVD レコーダーのカードスロットに入れる。

ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BD/DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

画面の表示

通常の表示

セーフティゾーンについては **32** (→ 78 ページ) を参照してください。



1 タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ (または表示なし) に切り替わります

COUNTER :

カウンター値

CLIP :

撮影ごとの CLIP のカウンター値

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合に表示されます。

- 再生時のタイムコード表示は、自動的に CLIP になり、クリップごとに 0:00:00 からカウントします。

TC:

タイムコード値

タイムコード値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[TC *] を表示します。

UB:

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[UB *] を表示します。

2 メディア情報表示

挿入されている SD メモリーカードの基本情報を表示します。

- : 記録可能なカード
- : ライトプロテクトがかかっている
- : 記録不可能なカード

:

カードの容量がいっぱい

- 表示がされていても記録できる場合があります。
- SD メモリーカードの容量や種類によっては、撮影中にカードの容量がいっぱいになり撮影が停止しても、表示されない場合があります。

:

再生専用カード

1000 以上のクリップが記録された SD メモリーカードは再生専用になります。

:

カードアクセス中

:

カード未挿入

3 メディア残量表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定された記録フレームレートでの残量を表示します。PB モード時には表示しません。
• 表示される時間は目安です。

4 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示

AUTO/MANUAL スイッチを AUTO に切り替えた時に表示します。

5 デジタルズーム倍率表示

デジタルズーム倍率を表示します。

- D 2X: 2 倍
- D 5X: 5 倍
- D 10X: 10 倍

6 記録フォーマット表示 (→ 91 ページ)

7 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。
- 警告表示(→ 79ページ)
- 現在の撮影条件下で推奨するNDフィルターを表示します。
- AWBエラーメッセージ(Low LIGHT / LEVEL OVER)を表示します。(→ 39 ページ)
- DISP/MODE CHK ボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示します。

8 EXPANDED 表示

EXPANDED 表示中に表示します。

9 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON にした時に表示します。

10 マーカー輝度表示

マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを 0% ~ 99% で表示します。99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

11 タイムスタンプ表示 (→ 45 ページ)

12 日付と時刻表示

月：

JAN (1月)、FEB (2月)、MAR (3月)、
APR (4月)、MAY (5月)、JUN (6月)、
JUL (7月)、AUG (8月)、SEP (9月)、
OCT (10月)、NOV (11月)、DEC (12月)

日

年：2001...2039

時

分

秒

mmm dd yyyy hh:mm:ss

13 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。
1080/60i の時は、表示しません。

14 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

15 オーディオレベルメーター表示 (→ 49 ページ)

16 オートアイリス制御表示

STD: 標準オートアイリス制御

SPOT: スポットライト用のオートアイリス制御

BACK: 逆光補正用のオートアイリス制御

17 アイリス表示

F 値を表示します。

18 ズームポジション表示

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM & FOCUS 項目で、単位を mm に切り替えられます。

19 フォーカス制御情報表示

99 ~ 00 でフォーカス制御情報を表示します。オートフォーカスの時は AF、マニュアルフォーカスの時は MF と表示されます。マクロ制御に設定している時は、AF または MF が白黒反転表示になります。

95 (焦点距離：無限大)

:

00 (焦点距離：約 5 cm)

ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。

また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM & FOCUS 項目で、単位を feet または m に切り替えられます。

20 インデックス / ショットマーク記録表示

(INDEX / SHOT MARK)

撮影中に、あらかじめ INDEX 機能や SHOT MARK 機能を割り当てた USER ボタンを押すと表示します。

付加できない場合は、INVALID を表示します。

21 ND フィルター表示

選択している ND フィルターを表示します。

22 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。(オートモード時は AGC 表示。)

23 AWB 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。

ATW : ATW 設定時

P3.2 K/P5.6 K : プリセット時

Ach/Bch : A/B 時

LOCK : ATW ロック時

24 マーカー表示

撮影時に ZEBRA ボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

画面の表示 (つづき)

25 手ぶれ補正 (📷) 表示

手ぶれ補正が ON の時に表示されます。

26 シーンファイル名表示 (➔ 50 ページ)

27 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 →  →  →  と表示が変わります。3 分以下になると  が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間で使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、REC CHECK を行ったり、LCD の明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

28 動作状態表示

- REC: 撮影
PAUSE: 撮影待機
CHK: レックチェック
▷: 再生
⏸: 再生一時停止
INDEX [00]: INDEX 付加位置での再生一時停止
⏮ (◀): コマ送り再生
(逆方向コマ送り再生)
⏪ (◀◀): 頭出し (逆方向頭出し)
⏩ (▶▶): 早送り / 早送り再生
(巻き戻し / 早戻し再生)
⏹ (◀): 最終シーンでの一時停止 (先頭シーンでの一時停止)

対面表示時

- 表示なし: 記録できない状態 (カードなし等)
○: 撮影中、撮影停止移行中
⏸: 撮影停止 (撮影待機)
! : 警告表示中

29 スタンバイモード表示

スタンバイモードが設定されている時に表示します。

30 記録機能表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の PREREC MODE 項目を ON に設定している時に表示します。

- 画面に P が表示されます。

31 モニター音量レベルメーター

AUDIO MON/ADV ボタンを押すと、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。

32 セーフティゾーン

DISPLAY SETUP 画面の SAFETY ZONE 項目 (➔ 94 ページ) の設定により、範囲を表示します。

4:3 4:3 に切り出した位置を表示します。



90% 一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90%) を表示します。



設定メニュー SW MODE 画面の FOCUS ASSIST 項目で EXPANDED を選んでいる場合は液晶モニターやビューファインダーに表示されません。

主な警告表示

液晶モニターやビューファインダーに表示される、主な警告表示を記載しています。その他の警告表示については、表示されるメッセージを確認してください。

C

CANNOT BE USED DUE TO INCOMPATIBLE DATA.

データの規格が異なるため使えません。

CANNOT DELETE.

削除できません。

CANNOT DELETE WITH THIS BUTTON

削除できません。

CANNOT PLAY.

再生できません。

CANNOT PLAY WITH THIS BUTTON

再生できません。

CANNOT RECORD PH MODE AND HA MODE INTO THIS CARD.

このカードには、PH モードや HA モードで記録できません。

CANNOT RECORD. THE NUMBER OF CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.

クリップ数がいっぱい記録できません。

CANNOT SET THE NUMBER OF INDEXES HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.

インデックス数が上限をこえるためセットできません。

CANNOT SET PRE-REC, CARD CAPACITY TOO LOW

カード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。

CARD DOOR OPENED.

カードのふたが開いています。

CARD ERROR.

PLEASE REFORMAT.

フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。

CARD FULL.

カード残量がありません。

CHECK CARD.

カードを確認してください。

CHECK USB CABLE.

PC を接続してください。

CONTROL DATA ERROR HAS BEEN DETECTED.

管理情報にエラーを検出しました。

D

DISCONNECT USB CABLE.

モード切替時は、USB ケーブルを抜いてください。

I

INCOMPATIBLE CARD. PLEASE CHECK CARD.

このカードは記録停止するおそれがあります。カードを確認してください。

N

NO CARD

カードが入っていません。

NOW ACCESSING. PLEASE DO NOT REMOVE CARD.

カードにアクセス中です。カードを抜かないでください。

R

REC STOPPED. NOW WRITING.

ビデオ記録が停止しました。カードに書き込み中です。

REPAIR CLIP?

クリップを修復しますか？

画面の表示 (つづき)

■ S

SD CARD FORMAT?

YES NO

SD カードをフォーマットしますか？
する しない

SET DATE AND TIME

日時を設定してください。

■ T

THE CLIP IS PROTECTED. PLEASE CANCEL PROTECTION.

クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。

THE RECORDING IS STOPPED (OVER THE LIMITATION)

記録を停止します。(12 時間連続録画)

THE TC MODE IS CHANGED TO "NDF"

TC モードは NDF になります。

THIS BATTERY CANNOT BE USED.

このバッテリーは使えません。

THIS CARD CANNOT RECORD IN VIDEO MODE.

このカードはビデオ記録できません。

THUMBNAIL DATA ERROR IS DETECTED.

サムネイル情報にエラーを検出しました。

■ U

UNABLE TO FORMAT.

フォーマットできません。

■ W

WRITE PROTECT

ライトプロテクトされています。

エラー表示

本機や SD メモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■ C

CANNOT RECORD

撮影時に異常が生じた時に表示します。

■ R

REC WARNING

記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 警告が続く場合は電源を OFF にしてください。
- 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

■ S

SYSTEM ERROR

TURN POWER OFF

システムに異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。

- クリップを削除した時など、SD メモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、SD メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいカードに交換してください。
- 修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフト AVCCAM リストアラーをお使いください。(➡ 33 ページ)

■ W

WARNING

カメラ系の異常が発生した時に表示します。再度記録してください。

FOCUS NG (フォーカス動作異常)
PSD NG (手ぶれ検出異常)

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押した時や、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目 (➔ 94 ページ) の設定により表示します。

表示項目	MODE CHK (DISP/MODE CHK ボタンの長押し)	DISPLAY	OTHER DISPLAY 項目の設定		
			ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—	—	—
2 メディア情報表示	○	○	—	—	—
3 メディア残量表示	○	○	—	—	—
4 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示	○	○	○	○	x
5 デジタルズーム倍率表示	○	○	○	○	x
6 記録フォーマット表示	○	○	○	x	x
7 情報表示	—	—	—	—	—
8 EXPANDED 表示	—	—	—	—	—
9 マイクレベル自動制御表示	○	○	○	x	x
11 タイムスタンプ表示	○	○*4	—	—	—
12 日付と時刻表示	○	○*4	—	—	—
13 フレームレート表示	○	○	○*1	x	x
14 シャッタースピード表示	○	○	○	○	x
15 オーディオレベルメーター表示	○	○	—	—	—
16 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	x
17 アイリス表示	○	○	○	○	x
18 ズームポジション表示	○	○	—	—	—
19 フォーカス制御情報表示	○	○	—	—	—
21 ND フィルター表示	○	○	○	x	x
22 ゲイン表示	○	○	○	○*2	x
23 AWB 情報表示	○	○	○	○*3	x
24 マーカー表示	—	—	—	—	—
25 手ぶれ補正表示	○	○	○	○	x
26 シーンファイル名表示	○	○	○	x	x
27 バッテリー残量表示	○	○	—	—	—
29 スタンバイモード表示	—	—	—	—	—
31 モニター音量レベルメーター	—	—	—	—	—

○: 表示する

x: 表示しない

—: 他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。

DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。

*1 フレームレートが 60i の時は表示されません。

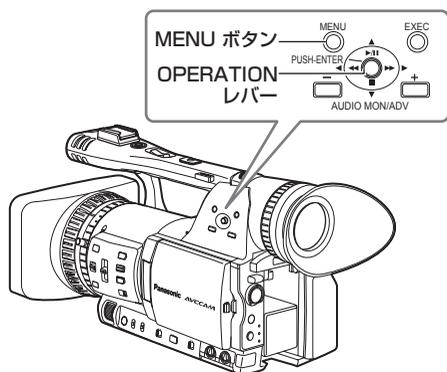
*2 OdB は表示されません。

*3 プリセット 3.2 K と 5.6 K のみ表示します。

*4 タイムスタンプ表示と日付と時刻表示を同時に表示している時は、DISP/MODE CHK ボタンを押しても表示が消えません。

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。



2 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定したい機能に黄色のカーソルを移動する。

3 OPERATION レバーを押して（または ▶ 方向に倒して）、設定項目を表示する。

例：



4 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定したい項目に移動する。

例：



設定メニューの操作方法

- グレー文字で表示されているメニュー項目は変更できません。

1 撮影中や再生中以外の時に、MENU ボタンを押す。

下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

CAM モード (例)



PB モード (例)



5 OPERATION レバーを押して（または ▶ 方向に倒して）、設定する。

数値などを変更する時は、OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、設定値を変更します。

例：



- ◀ 方向に OPERATION レバーを倒すと、1 つ前のメニューに戻ります。

6 他の項目を変更する場合は、4～5 を繰り返す。設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

7 他の機能を変更する場合は、2～5 を繰り返す。設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

設定メニューは、ユーザーファイルとシーンファイルに分かれており、それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

ユーザーファイル（シーンファイル以外の全項目）を初期化するには

USER FILE 画面の LOAD/SAVE/INIT 項目で、INITIALIZE を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

シーンファイル (SCENE FILE) を初期化するには 6 つのシーンファイルのうち、初期化したいファイルをシーンダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の LOAD/SAVE/INIT 項目で INITIALIZE を選択すると、選択したシーンファイルのみの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- シーンダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

ユーザーファイルとシーンファイルを同時に初期化するには OTHER FUNCTIONS 画面の MENU INIT 項目で YES を選択すると、ユーザーファイルと 6 つのシーンファイルすべてを工場出荷時の状態に戻すことができます。

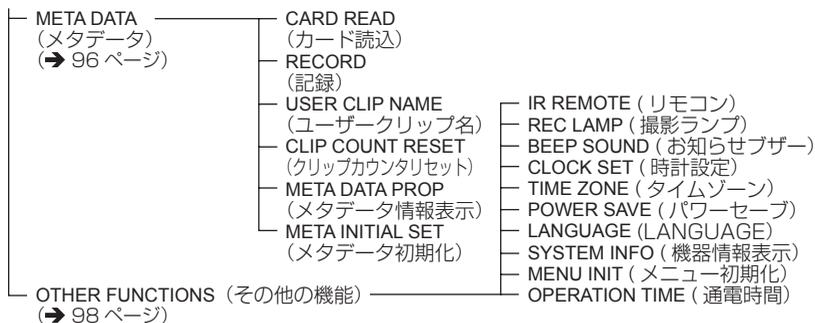
設定メニューの構成

カメラ (CAM) モードのメニュー

CAM MENU (カメラメニュー)

- SCENE FILE (シーンファイル) (→ 86 ページ)
 - CARD READ/WRITE (カード読込 / 保存)
 - LOAD/SAVE/INIT (読込 / 保存 / 初期化)
 - SYNCRO SCAN (シンクロスキャン)
 - DETAIL LEVEL (ディテール)
 - V DETAIL LEVEL (Vディテール)
 - DETAIL CORING (ディテールコアリング)
 - CHROMA LEVEL (色レベル)
 - CHROMA PHASE (色相)
 - COLOR TEMP Ach (色温度 Ach)
 - COLOR TEMP Bch (色温度 Bch)
 - MASTER PED (ペダスタル)
 - A.IRIS LEVEL (オートアイリスレベル)
 - DRS (DRS)
 - GAMMA (ガンマ)
 - KNEE (ニー)
 - MATRIX (マトリックス)
 - SKIN TONE DTL (スキンディテール)
 - NAME EDIT (シーンネーム設定)
- SW MODE (スイッチモード) (→ 88 ページ)
 - MID GAIN (M ゲイン)
 - HIGH GAIN (H ゲイン)
 - ATW (オートホワイトバランス)
 - HANDLE ZOOM (ハンドルズーム)
 - IRIS DIAL (絞り方向)
 - USER1 (USER1)
 - USER2 (USER2)
 - USER3 (USER3)
 - FOCUS ASSIST (フォーカスアシスト)
 - WFM (波形モニター)
 - LCD (LCD)
- AUTO SW (オートスイッチ) (→ 90 ページ)
 - A.IRIS (オートアイリス)
 - AGC (オートゲインコントロール)
 - ATW (オートホワイトバランス)
 - AF (オートフォーカス)
 - REC FORMAT (記録フォーマット)
 - PREREC MODE (プリレック)
 - TIME STAMP (タイムスタンプ)
 - MIC ALC (マイク ALC)
 - MIC GAIN1 (マイクゲイン 1)
 - MIC GAIN2 (マイクゲイン 2)
- RECORDING SETUP (記録設定) (→ 91 ページ)
 - TC/UB SETUP (TC/UB 設定) (→ 92 ページ)
 - TC MODE (TC モード)
 - TCG (TCG)
 - TC PRESET (TC プリセット)
 - UB PRESET (UB プリセット)
 - EXT TC LINK (外部 TC 同期)
 - HDMI OUT SEL (HDMI 出力選択)
 - CMPNT OUT SEL (コンポーネント出力)
 - DOWNCON MODE (ダウンコン モード)
 - VIDEO SETUP (ビデオセットアップ)
 - AUDIO OUT (音声切替)
 - HP MODE (ヘッドフォンモード)
- AV OUT SETUP (AV 出力設定) (→ 93 ページ)
 - ZEBRA DETECT1 (ゼブラ設定 1)
 - ZEBRA DETECT2 (ゼブラ設定 2)
 - MARKER (マーカー)
 - SAFETY ZONE (セーフティゾーン)
 - REC COUNTER (記録時間カウンター)
 - VIDEO OUT OSD (表示出力)
 - DATE/TIME (日時表示)
 - LEVEL METER (レベルメーター)
 - ZOOM & FOCUS (ズーム・フォーカス)
 - CARD & BATTERY (カード・バッテリー)
 - OTHER DISPLAY (その他表示)
 - LCD BACKLIGHT (LCD バックライト)
 - LCD SET (LCD 調整)
 - EVF SET (EVF 調整)
 - SELF SHOOT (対面モード)
 - EVF COLOR (EVF カラー)
- DISPLAY SETUP (表示設定) (→ 94 ページ)
 - CARD FUNCTIONS (SD カード機能) (→ 96 ページ)
 - CARD FORMAT (SD カードフォーマット)
 - CARD STATUS (カード情報)
- USER FILE (ユーザーファイル) (→ 96 ページ)
 - CARD READ/WRITE (カード読込 / 保存)
 - LOAD/SAVE/INIT (読込 / 保存 / 初期化)

カメラ (CAM) モードのメニュー (つづき)



再生 (PB) モードのメニュー

PB MENU (再生メニュー)



設定メニュー一覧

SCENE FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD READ/ WRITE	(カメラ)	SD メモリーカードへ、シーンファイルの読み書きをします。 READ: SD メモリーカードに保存されたシーンファイル (F1 ~ F6 のすべて) の設定値を選択して読み出します。 WRITE: SD メモリーカードに現在のシーンファイル (F1 ~ F6 すべて) の設定値を保存します。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。
LOAD/SAVE/ INIT	(カメラ)	LOAD: 本機で保存したシーンファイルの設定値を、読み込みます。 SAVE: 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 INITIALIZE: SCENE FILE ダイヤルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。
SYNCHRO SCAN	(カメラ)	テレビ画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 OPERATION レバーを ◀ 方向や ▶ 方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 • 60P/60i の時: 1/60.0...1/249.8 (工場出荷時は 1/48.0 に設定されています。) • 30P の時: 1/30.0...1/48.0...1/249.8 • 24P の時: 1/24.0...1/48.0...1/249.8
DETAIL LEVEL	(カメラ)	画像の輪郭補正 (水平垂直の両方向) の強弱の調整を行います。 - 7...0...+ 7
V DETAIL LEVEL	(カメラ)	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 - 7...0...+ 7
DETAIL CORING	(カメラ)	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 - 7...0...+ 7 - 方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 + 方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL	(カメラ)	クロマレベルの調整を行います。 - 7...0...+ 7
CHROMA PHASE	(カメラ)	クロマ位相の微調整を行います。 - 7...0...+ 7
COLOR TEMP Ach	(カメラ)	色温度の微調整 (ホワイトバランス Ach の調整を行った後の微調整) を行います。 - 7...0...+ 7
COLOR TEMP Bch	(カメラ)	色温度の微調整 (ホワイトバランス Bch の調整を行った後の微調整) を行います。 - 7...0...+ 7
MASTER PED	(カメラ)	映像の基準とする黒のマスターペダスタルの調整を行います。 - 100...0...+ 100
A.IRIS LEVEL	(カメラ)	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 - 10...0...+ 10

_____ は工場出荷モードです。

SCENE FILE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
DRS	(カメラ)	DRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能を選択します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 OFF、1、2、3 ・数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 ・数値が大きいほど、暗部のノイズが大きくなります。 ・60i/60P以外の時は選択できません。(グレー表示になります。)
GAMMA	(カメラ)	ガンマカーブを選択します。 HD NORM: HD 撮影に適したガンマ設定です。 LOW: 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着いた映像にします。コントラストはシャープになります。 SD NORM: DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH: 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 B.PRESS: LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINE-LIKE D: 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE V: コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 ・CINE-LIKE ガンマを選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く(約1/2)することをお勧めします。
KNEE	(カメラ)	白飛びを押さえるために、CCD が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル(ニーポイント)を設定します。 AUTO: 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW: 低めの設定(約80%から圧縮を開始) MID: 中間の設定(約90%から圧縮を開始) HIGH: 高めの設定(約100%から圧縮を開始) ・DRSの値を設定している時や、GAMMAをCINE-LIKEガンマに設定している時は選択できません。
MATRIX	(カメラ)	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM1: 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 NORM2: NORM1 より鮮やかな色を表現します。 FLUO: 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 CINE-LIKE: 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。
SKIN TONE DTL	(カメラ)	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON OFF
NAME EDIT	(カメラ)	SCENE FILE ダイアルで選択されているシーンファイルの、ファイル名を編集します。 YES NO

_____ は工場出荷モードです。

SW MODE 画面

項目	表示モード	設定内容
MID GAIN	(カメラ)	GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB
HIGH GAIN	(カメラ)	GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、12dB
ATW	(カメラ)	WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能の動作を設定します。ただし、AUTO/MANUAL スイッチや USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。 Ach: WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 Bch: WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 PRST: WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 OFF: ATW 機能を動作させません。
HANDLE ZOOM	(カメラ)	HANDLE ZOOM スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。 L/OFF/H: 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF/HIGH (高速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。) L/M/H: 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /MID (中速) /HIGH (高速) を設定します。 L/OFF/M: 1/2/3 の各位置に、LOW (低速) /OFF /MID (中速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)
IRIS DIAL	(カメラ)	IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定します。 (MANUAL IRIS モード時) DOWN OPEN: IRIS ダイヤルを下方向に回した時に、絞りが開きます。 UP OPEN: IRIS ダイヤルを上方向に回した時に、絞りが開きます。
USER1	(カメラ) (PB)	USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。 SPOTLIGHT: スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。 BACKLIGHT: 逆光補正用のオートアイリス制御 (→ 43 ページ) BLACKFADE: ブラックフェード (→ 43 ページ) WHITEFADE: ホワイトフェード (→ 43 ページ) ATW: ATW 機能の ON/OFF を切り替えます。 ATW LOCK: ATW 時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。 GAIN:18dB: ボタンを押すと、ゲイン値を 18dB に設定します。なお、記録フォーマットが 60i、60P 時のみ有効です。また、スローシャッター (1/15) の時は無効になります。

_____ は工場出荷モードです。

SW MODE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
USER1 (つづき)		<ul style="list-style-type: none"> ゲイン値を18dB に切り替えた時や、18dB から他のゲイン値に切り替えた時は、画像が一瞬乱れることがあります。 この機能を使用する場合、MANUAL モードまたはAUTO モードでお使いの時は、設定メニュー AUTO SW 画面のAGC 項目をOFFにしてください。 <p>D.ZOOM: DIGITAL ZOOM 機能の倍率を切り替えます。 ボタンを押すごとに、OFF (× 1) → × 2 → × 5 → × 10 → OFF (× 1) の順に切り替わります。(→ 34 ページ)</p> <p>INDEX: インデックス記録 (→ 45 ページ)</p> <p>SHOT MARK: ショットマークを記録します。(→ 45 ページ)</p> <p>LAST CLIP: 撮影直後のクリップを削除します。(→ 45 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録後に、PB、PCモードに切り替えたり、REC FORMATを変更したり、電源を切ると削除できません。
USER2	(カメラ) (PB)	<p>USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>BACKLIGHT</p>
USER3	(カメラ) (PB)	<p>USER3 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。</p> <p>INDEX</p>
FOCUS ASSIST	(カメラ)	<p>FOCUS ASSIST ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>EXPANDED: 画面中央部分が、縦は約 4 倍、横は約 6 倍に拡大表示されます。 EXPANDED 表示中は、画面に EXPANDED が表示されます。</p> <p>GRAPH: ビューファインダーや液晶モニターの画面右上に周波数分布グラフが表示されます。</p> <p>BOTH: 拡大表示と、周波数分布グラフの両方を表示します。 (周波数分布グラフは、ビューファインダーまたは液晶モニターのどちらかの表示になります。)</p>
WFM	(カメラ)	<p>WFM ボタンを押した時のウェーブフォーム の表示を切り替えます。</p> <p>WAVE: 波形で表示します。ボタンを押すごとに、OFF → WAVE (波形) → OFF の順に切り替わります。</p> <p>VECTOR: ベクトルで表示します。ボタンを押すごとに、OFF → VECTOR (ベクトル) → OFF の順に切り替わります。</p> <p>WAVE/VECTOR: ボタンを押すごとに、OFF → WAVE (波形) → VECTOR (ベクトル) → OFF の順に切り替わります。</p>
LCD	(カメラ) (PB)	<p>LCD ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>LCD REV: LCD に表示される映像の上下、左右を反転します。</p> <p>LCD BL: LCD のバックライトの明るさを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> LCD BLで設定したバックライトの明るさは、LCD ボタンに割り当てる機能を変更しても設定が保持されます。

_____ は工場出荷モードです。

AUTO SW 画面

項目	表示モード	設定内容
A.IRIS	(カメラ)	<p>ON: オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行います。この時 IRIS ボタンは機能しません。</p> <p>OFF: オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行いません。IRIS ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。</p>
AGC	(カメラ)	<p>A.IRIS 項目で ON が選択された時のオートゲイン制御の動作を設定します。</p> <p>6dB: オートモードの時に、最大 6 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>12dB: オートモードの時に、最大 12 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>OFF: オートモードの時に、オートゲイン制御を行いません。GAIN スイッチで選択されているゲイン制御の動作を行います。</p>
ATW	(カメラ)	<p>ON: オートモードの時に、ATW (自動追尾式のホワイトバランス) 機能が働きます。この時 WHITE BAL スイッチや USER ボタンでは、ATW 機能動作の ON/OFF を行うことができません。ただし、USER ボタンに ATW LOCK を割り当てている時は、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。</p> <p>OFF: オートモードの時に、ATW 機能動作を行いません。WHITE BAL スイッチで選択されているホワイトバランス機能動作を行います。</p>
AF	(カメラ)	<p>ON: オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行います。この時 FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンは機能しません。</p> <p>OFF: オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行いません。FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンで選択されているフォーカスの動作を行います。</p>

_____ は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
REC FORMAT	(カメラ)	記録フォーマットを選択します。 PH 1080/60i PH 1080/30P PH 1080/24P PH 720/60P PH 720/30P PH 720/24P HA 1080/60i HG 1080/60i HE 1080/60i ・ PH 1080/24P、PH 720/24Pはネイティブ記録です。
PREREC MODE	(カメラ)	プリレックを設定します。(→ 42 ページ) ON OFF
TIME STAMP	(カメラ)	撮影した映像に DATE/TIME 情報を重畳する機能を設定します。 ON: DATE/TIME 項目で設定されている情報を映像に重畳します。 OFF: DATE/TIME 項目で設定されている情報を映像に重畳しません。
MIC ALC	(カメラ)	マイクレベル自動制御機能の ON/OFF を切り替えます。(→ 49 ページ) ON OFF ON に設定すると、過大な入力レベルの時に音声歪みを低減することができます。 音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、AUDIO コントロールつまみで調整してください。
MIC GAIN 1	(カメラ)	INPUT 1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 (→ 48 ページ) -50dB -60dB
MIC GAIN 2	(カメラ)	INPUT 2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 (→ 48 ページ) -50dB -60dB

____ は工場出荷モードです。

設定メニュー一覧 (つづき)

TC/UB SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
TC MODE	(カメラ)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。 DF: ドロップフレームモードを使用します。 NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。 ・記録フォーマットの記録フレームレートを24Pに設定している時は、自動でNDFに設定されます。
TCG	(カメラ)	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させます。 24Pに設定している時は、PBモードへの切り替えを行うと誤差が発生する場合があります。 REC RUN: 撮影中の時に歩進させます。
TC PRESET	(カメラ)	記録するタイムコードの初期値を設定します。 YES NO ・記録フォーマットの記録フレームレートを24Pに設定している時は、フレームの値を、0 または、4 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。
UB PRESET	(カメラ)	ユーザーズビットを設定します。 YES NO
EXT TC LINK	(カメラ)	マルチカメラ撮影をする時に、タイムコードの初期値を同期します。(SLAVE側のタイムコードを、MASTER側の内部TCGの値に同期させます。) (➔ 55 ページ) MASTER: 本機をマスターモードにします。 SLAVE: 本機をスレーブモードにします。 COUNTER RESET/TC SET ボタンを押した時に、入力タイムコードに対して内部TCGを同期させます。 NO: 1つ前の画面に戻ります。 ・MASTER、SLAVEモード設定はこのメニューを開いている時のみ有効です。メニューを閉じると自動的にEXT TC LINKが解除されます。

_____ は工場出荷モードです。

設定メニュー一覧 (つづき)

DISPLAY SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
ZEBRA DETECT 1	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、 <u>80%</u> 、85%、90%、95%、100%、105%
ZEBRA DETECT 2	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、 <u>100%、105%、OFF</u> ・OFF に設定した時は、このゼブラパターンを表示しません。
MARKER	(カメラ)	マーカーの表示 ON/OFF を切り替えます。(➔ 42 ページ) <u>ON OFF</u> ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押して、マーカーを表示することができます。
SAFETY ZONE	(カメラ)	SAFETY ZONE を設定します。(➔ 78 ページ) <u>90%、4 : 3、OFF</u>
REC COUNTER	(カメラ)	撮影時のカウンター動作を選択します。 TOTAL: RESET/TC SET ボタンでリセットするまでカウントを続けます。 CLIP: 撮影開始時にカウンターをリセットし、撮影単位の時間をカウントします。 ・PBモードでは常にCLIPモードで動作します。
VIDEO OUT OSD	(カメラ) (PB)	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 <u>ON OFF</u>
DATE/TIME	(カメラ) (PB)	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 TIME: 時刻を表示します。 DATE: 日付を表示します。 TIME & DATE: 日付と時刻を表示します。 OFF: 日付や時刻を表示しません。
LEVEL METER	(カメラ) (PB)	オーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を切り替えます。 <u>ON OFF</u>
ZOOM & FOCUS	(カメラ)	ズーム値とフォーカス値の単位表示を切り替えます。 <u>OFF、NUMBER、mm/feet、mm/m</u> ・mm/feet 表示、mm/m 表示には誤差がありますので目安としてお使いください。
CARD & BATTERY	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードの記録残量とバッテリー残量の表示の ON/OFF を切り替えます。 <u>ON OFF</u>
OTHER DISPLAY	(カメラ) (PB)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。 (➔ 81 ページ) <u>PARTIAL、ALL、OFF</u>
LCD BACKLIGHT	(カメラ) (PB)	液晶モニターのバックライトを調整します。HIGH に設定すると、通常より明るくなります。 <u>LOW NORMAL HIGH</u>
LCD SET	(カメラ) (PB)	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(➔ 26 ページ) <u>LCD COLOR LEVEL</u> <u>LCD BRIGHTNESS</u> <u>LCD CONTRAST</u>

____ は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
EVF SET	(カメラ) (PB)	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。(→ 26 ページ) EVF COLOR LEVEL EVF BRIGHTNESS EVF CONTRAST
SELF SHOOT	(カメラ)	対面撮影を行う時に、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。 MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。(→ 41 ページ) NORMAL <u>MIRROR</u>
EVF COLOR	(カメラ) (PB)	ビューファインダー表示をカラー / モノクロから選択します。 ON: カラー表示 OFF: モノクロ表示

____ は工場出荷モードです。

設定メニュー一覧 (つづき)

CARD FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD FORMAT	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードをフォーマットします。 YES: フォーマットします。 NO: 1つ前の画面に戻ります。
CARD STATUS	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードの状態を表示します。 YES: カードの状態を表示します。 NO: 1つ前の画面に戻ります。
CLIP PROPERTY	(PB)	選択したクリップの情報を表示します。 YES: クリップ情報を表示します。 NO: 1つ前の画面に戻ります。

USER FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD READ/ WRITE	(カメラ) (PB)	ユーザーファイルを4つまでSDメモリーカードへ保存できます。保存したファイルにはタイトルを付けることもできます。 READ: 読み出し WRITE: 書き込み NO: 1つ前の画面に戻ります。
LOAD/SAVE/ INIT	(カメラ) (PB)	LOAD: 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 SAVE: 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 INITIALIZE: ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 NO: 1つ前の画面に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> LOAD やINITIALIZE を行った時は、設定値を有効にするために、本機のPOWER スイッチをOFFにし、再度ONにしてください。 INITIALIZE を実行しても、TIME ZONE 項目(→ 99ページ)の設定は変更されません。

META DATA 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD READ	(カメラ)	SDメモリーカードにセットしたメタデータを本機にロードします。 YES NO <ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードにメタデータが記録されていない時は、NO FILEが表示されます。
RECORD	(カメラ)	本機にロードするメタデータを同時にSDメモリーカードに記録するかどうかを設定します。 ON: 同時に記録する OFF: 同時に記録しない
USER CLIP NAME	(カメラ)	USER CLIP NAME の記録方法を選択します。 TYPE1: アップロードされたメタデータ、またはアップロードデータがない場合はCLIP NAMEと同じ名前になります。 TYPE2: アップロードされたデータ+ COUNT 値、またはアップロードデータがない場合はCLIP NAMEと同じ名前になります。
CLIP COUNT RESET	(カメラ)	COUNT の値を1にリセットします。 YES NO
META DATA PROP	(カメラ)	本機に記録されたメタデータを表示します。 YES NO

____ は工場出荷モードです。

META DATA 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
META INITIAL SET	(カメラ)	本機に記録されたメタデータを初期化します。 RECORD の ON/OFF も含め、すべてクリアされます。 YES <u>NO</u>

PLAY SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
PB FORMAT	(PB)	再生するフォーマットを設定します。 1080/60i (30P)、1080/24P、720/60P(30P)、720/24P ・ PBモードへ移行する前のCAM モードのREC FORMATの設定が、PB FORMATの初期値になります。
REPEAT PLAY	(PB)	ON <u>OFF</u> ON に設定すると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
RESUME PLAY	(PB)	ON <u>OFF</u> ON に設定すると、クリップ再生を停止した映像位置から再生します。
SKIP MODE	(PB)	一時停止状態からの頭出しの先頭位置を選択します。 CLIP: 一つ前のクリップの先頭で再生を停止します。 CLIP & INDEX: クリップの先頭と INDEX で停止します。

THUMBNAIL SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
THUMBNAIL MODE	(PB)	サムネールの表示方法を選択します。 ALL: すべてのクリップを表示します。 SAME FORMAT: 記録フォーマットと同じクリップを表示します。 MARKER: ショットマークが付いたクリップを表示します。 INDEX: INDEX が付いたクリップを表示します。
INDICATOR	(PB)	インジケータの表示 / 非表示を設定します。 ON: 表示する OFF: 表示しない
DATA DISPLAY	(PB)	クリップの時間表示の部分に表示する内容を選択します。 TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 撮影時間 DATE: 撮影日 DATE & TIME: 撮影日時
DATE FORMAT	(PB)	DATA DISPLAY 項目の DATE または、DATE & TIME の表示順を選択します。 Y-M-D: 年月日 M-D-Y: 月日年 D-M-Y: 日月年

_____ は工場出荷モードです。

設定メニュー一覧（つづき）

OPERATION 画面

項目	表示モード	設定内容
DELETE	(PB)	クリップを削除します。 ALL CLIPS: すべてのクリップを削除します。 SELECT: 選択したクリップのみを削除します。EXEC ボタンを押すと削除実行します。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。 ・CLIP PROTECTされたクリップは削除できません。
INDEX	(PB)	クリップに INDEX を付加、削除します。 YES: 付加、削除します。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。
CLIP PROTECT	(PB)	クリップを保護し、誤消去を防ぎます。 YES: クリップのプロテクト（保護）、解除ができます。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。 ・クリップがプロテクトされていても、フォーマット(➡ 32ページ)を実行すると消去されます。

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
IR REMOTE	(カメラ) (PB)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。 ON: リモコンでの操作を受け付けます。 ・本機の近くで、同じ種類のリモコンが使用されていると、リモコン操作を受け付けて、撮影中などに突然、意図しない動作をおこなう可能性がありますので、ご注意ください。 OFF: リモコンでの操作を受け付けません。
REC LAMP	(カメラ)	タリーランプの点灯を設定します。 FRONT: フロントのタリーランプ（マイクロホン側）が点灯します。 REAR: リアのタリーランプ（ビューファインダー側）が点灯します。 BOTH: フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。 OFF: タリーランプは点灯しません。
BEEP SOUND	(カメラ)	ビーブ音の ON/OFF を切り替えます。 ON OFF ON に設定すると撮影中に SD メモリーカードが FULL になった時にビーブ音が出ます。 ビーブ音を発信する時は、出力端子からの音声信号をミュートしてビーブ音を出します。
CLOCK SET	(カメラ) (PB)	本機の内蔵カレンダーを設定します。

_____ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容																																																																																																												
TIME ZONE	(カメラ) (PB)	<p>GMT に対して、- 12:00 から+ 13:00 まで 30 分単位で設定します。 (下記参照) <u>+09 : 00</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 差</th> <th>地 域</th> <th>時 差</th> <th>地 域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>+ 00:00</td><td>グリニッジ</td><td>- 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 01:00</td><td>アゾレス諸島</td><td>- 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 02:00</td><td>中部大西洋</td><td>- 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 03:00</td><td>ペノスアイレス</td><td>- 03:30</td><td>ニューファンドランド島</td></tr> <tr><td>- 04:00</td><td>ハリファックス</td><td>- 04:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 05:00</td><td>ニューヨーク</td><td>- 05:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 06:00</td><td>シカゴ</td><td>- 06:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 07:00</td><td>デンバー</td><td>- 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 08:00</td><td>ロサンゼルス</td><td>- 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 09:00</td><td>アラスカ</td><td>- 09:30</td><td>マルケサス諸島</td></tr> <tr><td>- 10:00</td><td>ハワイ</td><td>- 10:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 11:00</td><td>ミッドウェイ諸島</td><td>- 11:30</td><td></td></tr> <tr><td>- 12:00</td><td>クワジャリン</td><td>+ 12:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 13:00</td><td></td><td>+ 11:30</td><td>ノーフォーク島</td></tr> <tr><td>+ 12:00</td><td>ニュージーランド</td><td>+ 10:30</td><td>ロード・ハウ・アイランド</td></tr> <tr><td>+ 11:00</td><td>ソロモン諸島</td><td>+ 09:30</td><td>ダーウィン諸島</td></tr> <tr><td>+ 10:00</td><td>グアム</td><td>+ 08:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 09:00</td><td>東京</td><td>+ 07:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 08:00</td><td>北京</td><td>+ 06:30</td><td>ヤンゴン</td></tr> <tr><td>+ 07:00</td><td>バンコク</td><td>+ 05:30</td><td>ムンバイ</td></tr> <tr><td>+ 06:00</td><td>ダッカ</td><td>+ 04:30</td><td>カブール</td></tr> <tr><td>+ 05:00</td><td>イスラマバード</td><td>+ 03:30</td><td>テヘラン</td></tr> <tr><td>+ 04:00</td><td>アブダビ</td><td>+ 02:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 03:00</td><td>モスクワ</td><td>+ 01:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 02:00</td><td>東ヨーロッパ</td><td>+ 00:30</td><td></td></tr> <tr><td>+ 01:00</td><td>中央ヨーロッパ</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	時 差	地 域	時 差	地 域	+ 00:00	グリニッジ	- 00:30		- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30		- 02:00	中部大西洋	- 02:30		- 03:00	ペノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島	- 04:00	ハリファックス	- 04:30		- 05:00	ニューヨーク	- 05:30		- 06:00	シカゴ	- 06:30		- 07:00	デンバー	- 07:30		- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30		- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島	- 10:00	ハワイ	- 10:30		- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30		- 12:00	クワジャリン	+ 12:30		+ 13:00		+ 11:30	ノーフォーク島	+ 12:00	ニュージーランド	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド	+ 11:00	ソロモン諸島	+ 09:30	ダーウィン諸島	+ 10:00	グアム	+ 08:30		+ 09:00	東京	+ 07:30		+ 08:00	北京	+ 06:30	ヤンゴン	+ 07:00	バンコク	+ 05:30	ムンバイ	+ 06:00	ダッカ	+ 04:30	カブール	+ 05:00	イスラマバード	+ 03:30	テヘラン	+ 04:00	アブダビ	+ 02:30		+ 03:00	モスクワ	+ 01:30		+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 00:30		+ 01:00	中央ヨーロッパ		
時 差	地 域	時 差	地 域																																																																																																											
+ 00:00	グリニッジ	- 00:30																																																																																																												
- 01:00	アゾレス諸島	- 01:30																																																																																																												
- 02:00	中部大西洋	- 02:30																																																																																																												
- 03:00	ペノスアイレス	- 03:30	ニューファンドランド島																																																																																																											
- 04:00	ハリファックス	- 04:30																																																																																																												
- 05:00	ニューヨーク	- 05:30																																																																																																												
- 06:00	シカゴ	- 06:30																																																																																																												
- 07:00	デンバー	- 07:30																																																																																																												
- 08:00	ロサンゼルス	- 08:30																																																																																																												
- 09:00	アラスカ	- 09:30	マルケサス諸島																																																																																																											
- 10:00	ハワイ	- 10:30																																																																																																												
- 11:00	ミッドウェイ諸島	- 11:30																																																																																																												
- 12:00	クワジャリン	+ 12:30																																																																																																												
+ 13:00		+ 11:30	ノーフォーク島																																																																																																											
+ 12:00	ニュージーランド	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド																																																																																																											
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 09:30	ダーウィン諸島																																																																																																											
+ 10:00	グアム	+ 08:30																																																																																																												
+ 09:00	東京	+ 07:30																																																																																																												
+ 08:00	北京	+ 06:30	ヤンゴン																																																																																																											
+ 07:00	バンコク	+ 05:30	ムンバイ																																																																																																											
+ 06:00	ダッカ	+ 04:30	カブール																																																																																																											
+ 05:00	イスラマバード	+ 03:30	テヘラン																																																																																																											
+ 04:00	アブダビ	+ 02:30																																																																																																												
+ 03:00	モスクワ	+ 01:30																																																																																																												
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 00:30																																																																																																												
+ 01:00	中央ヨーロッパ																																																																																																													
POWER SAVE	(カメラ)	<p>CAM モードで SD メモリーカードが挿入されている時に約 5 分間、OPERATION レバー、MENU ボタン、AUDIO MON/ADV ボタン、USER ボタン、START/STOP ボタン、STAND BY ボタンの操作がなかった時の省電力モードを選択します。 ON: 本機の電源を OFF にします。 OFF: 本機の電源を OFF にしません。 ・この設定がONになっていても、SD メモリーカードが挿入されていない時や、PBモード、PCモード中、ACアダプター接続時は電源OFF になりません。</p>																																																																																																												
LANGUAGE	(カメラ) (PB)	<p>メニュー表示言語を設定します。 ENGLISH: 英語 JAPANESE: 日本語</p>																																																																																																												
SYSTEM INFO	(カメラ) (PB)	<p>本機システムのバージョンを表示します。</p>																																																																																																												
MENU INIT	(カメラ)	<p>メニュー設定 (シーンファイル、ユーザーファイル) を工場出荷時の状態に戻します。 ・TIME ZONE項目は工場出荷の状態に戻りません。</p>																																																																																																												
OPERATION TIME	(カメラ) (PB)	<p>通電時間 (5 桁) を表示します。</p>																																																																																																												

_____ は工場出荷モードです。

故障？と思ったら (Q&A)

電源関係

電源が入らない。	・バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。 接続を確認してみてください。	P20
電源がかってに切れる。	・バッテリーの消耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のPOWER SAVE項目を確認してください。	P99
電源が入ってもすぐに切れる。	・バッテリーが消耗していませんか。 バッテリー残量表示が点滅していたり、  の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。 バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	P19

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	・十分に充電されていますか。 ACアダプターのCHARGEランプが消灯するまで充電してください。 ・低い温度の所で使っていませんか。 バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 ・バッテリーが寿命になっていませんか。 バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。	P19
バッテリーが充電できない	・DCコードがACアダプターに接続されていませんか。 DCコードを接続していると充電できません。	P18
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない。	・バッテリー残量表示は、目安です。バッテリー残量が正しく表示されない場合は、バッテリーをフル充電した後、使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になる場所で長時間使用したバッテリーや、充電を繰り返したバッテリーは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)	—

撮影

撮影が始まらない。	・POWERスイッチがONになっていますか。	P22
自動でピントが合わない。	・マニュアルフォーカスモードになっていませんか。 オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 ・オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。 オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせることができます。 ピントの合いにくい場面 ・遠くと近くのを撮る ・汚れたガラスの向こうのを撮る ・暗い場所を撮る ・キラキラと光るものが周りにある ・動きの速いものを撮る ・コントラストの少ないものを撮る	P36

撮影

SD メモリーカードを正しく入れているのに撮影できない。	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていませんか。「LOCK」側になっていると撮影できません。SD メモリーカードのメモリー残量が極端に少なくなっていないですか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。8 MB ~ 16 MBのSD メモリーカードは使用できません。	P33 P32 P10
撮影がかってに止まってしまう。	<ul style="list-style-type: none">ビデオ撮影に使用可能なSD メモリーカードをお使いですか。ビデオ撮影に使用可能なSD メモリーカードをお使いください。	P10

編集

SD メモリーカードが読めない。	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。	P32
ノンリニア編集ができない。	<ul style="list-style-type: none">パソコンと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P74
外部機器にダビングできない。	<ul style="list-style-type: none">外部機器は正しく接続されていますか。	P72

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	<ul style="list-style-type: none">逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。	—
------------------	---	---

再生

再生ボタンを押しても再生できない。	<ul style="list-style-type: none">CAMモードになっていませんか。動作モードボタンを押して、PBランプを点灯させてください。	P59
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none">デジタル特有の現象です。故障ではありません。	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	<ul style="list-style-type: none">テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。	—
本機のスピーカーから再生音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。AUDIO MON/ADV ボタン+を押して音量を調整してください。	P70

PC 接続

USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない。	<ul style="list-style-type: none">動作環境を確認してください。本機の動作モードや設定は正しいですか。CAMモードやPBモードでは認識しません。PC モードにしてください。パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。本機の電源を切/入して、USB接続ケーブルを接続し直してください。	P74
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る。	<ul style="list-style-type: none">USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。	—

故障?と思ったら (Q&A) (つづき)

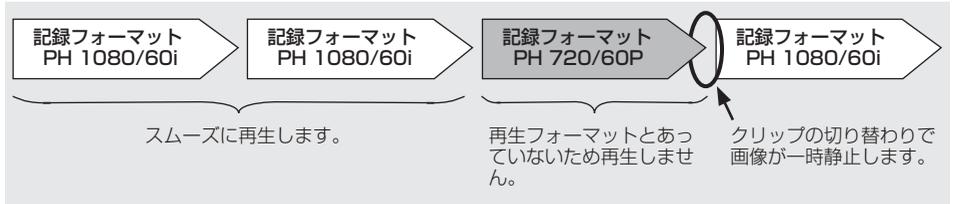
その他

リモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none">・リモコンのコイン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池が消耗しています。新しいコイン電池と交換してください。・設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のIR REMOTE 項目がOFFになっていませんか？	P22
本機を前後に傾けた時に、カタカタと音がする。	<ul style="list-style-type: none">・これはレンズが移動する音です。故障ではありません。電源を入れると音はしなくなります。	—
電源を入れた時や、PB モードから CAM モードに切り替えた時、一瞬カタッと音がする。	<ul style="list-style-type: none">・カメラ起動時の初期化動作です。カメラ構造によるもので、故障ではありません。	—
SD メモリーカードの画像がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">・データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。	—
SD メモリーカードをフォーマットしても使えようにならない。	<ul style="list-style-type: none">・本機またはSD メモリーカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では512 MB ~ 32 GB までのSD メモリーカードを使用してください。	—
本機に SD メモリーカードを挿入しても認識しない。	<ul style="list-style-type: none">・パソコンでフォーマットしたSD メモリーカードを挿入していませんか。SD メモリーカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。	P32
他の機器に SD メモリーカードを入れても認識しない。	<ul style="list-style-type: none">・SD メモリーカードを挿入されている機器が、ご使用のSD メモリーカードの容量、または種類(SD メモリーカード/SDHC メモリーカード)に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。	P11

複数クリップの連続再生時にクリップの切り替わりがスムーズに行われなかった場合があります。
 以下のような場合に、複数クリップを連続再生するとクリップが切り替わる時に画像が一時静止することがあります。

■ 記録フォーマットが混在している場合

記録モード = PHモード
 再生フォーマット = 1080/60i(30P)

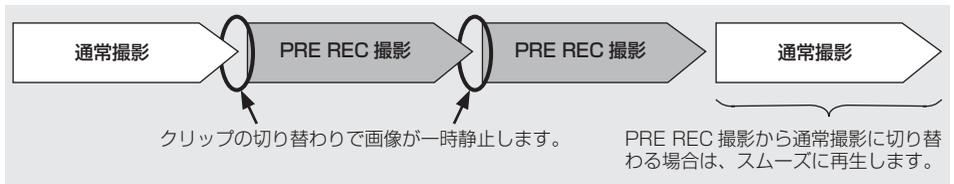


■ 記録モードが混在している場合

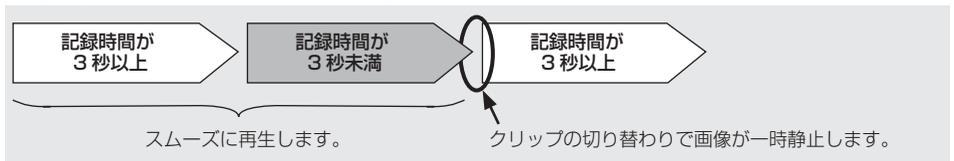
記録フォーマット = 1080/60i
 再生フォーマット = 1080/60i(30P)



■ PRE REC 機能を使って撮影したクリップがある場合



■ 記録時間が3秒未満のクリップがある場合



使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、カメラに水が入らないようご注意ください。

- カメラやカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

電磁波を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)からカメラを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、撮影内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、カメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後カメラの電源を入れます。

カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようご注意ください。

- 砂やほこりでカメラやカードが破損することがあります。(カードを出し入れする時にはご注意ください。)

ACアダプターとバッテリーについて

- バッテリーが適温でも[CHARGE]ランプが点滅し続ける時は、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くなります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1 m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ:

<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をゼロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

Li-ion

電池使用

カメラを持ち運ぶ時、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶ時は、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いってください。

カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、バッテリーを外すか、またはACコードをコンセントから抜いておきます。

バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラからバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておく、カメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておく、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、カメラやACアダプター側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡する時のお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えないものではありません。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- カメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

本機搭載ドライバーのアップデート

ドライバーに関する最新情報または、アップデートの方法は、下記のウェブサイトのサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

お手入れについて

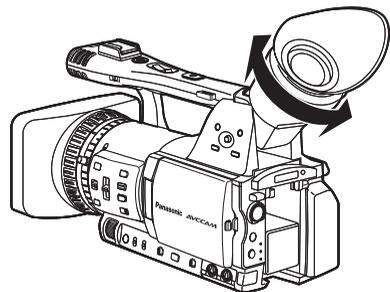
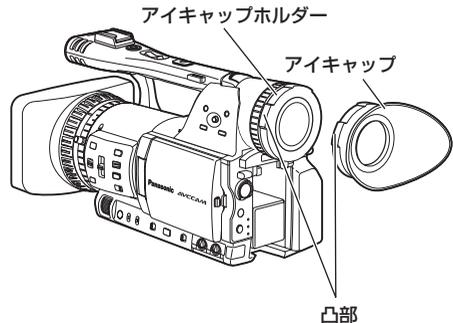
お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラをふいてください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダーの内部にほこりが付着した場合、アイキャップホルダーを取り外して除去してください。

- アイキャップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対にふかないでください。ほこりが付着した時は、エアブローなどで吹き飛ばしてください。
- アイキャップホルダーは、アイキャップを付けた状態で反時計方向に回して取り外します。(アイキャップホルダーは、固めに締めてあります。) この時、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイキャップホルダーを取り付ける時は、アイキャップホルダーとカメラ本体の凹凸部を合わせ、時計方向にカチッと音がするまで回してください。



保管上のお願い

保管時は、カメラからSDメモリーカードを出し、バッテリーを外してください。

湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

[推奨温度：15℃～25℃]

[推奨相対湿度：40%～60%]

カメラレコーダー

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。

SDメモリーカード

- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

海外で使う

撮ったものを海外で見するには

映像・音声ケーブルなどをテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

■日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国	●コスタリカ	●ドミニカ共和国	●ベトナム（一部地域）
●アンチグア・バーブータ	●コロンビア	●ドミニカ国	●ベネズエラ
●イエメン（一部地域）	●ジャマイカ	●トリニダード・トバゴ	●ペリース
●英領バークミュダ諸島	●スリナム	●ニカラグア	●ペルー
●エクアドル	●セントクリストファー・ネイビス	●ハイチ	●ポリビア
●エルサルバドル	●セントビンセント・グレナディーン諸島	●パナマ	●ホンジュラス
●ガイアナ	●セントルシア	●パハマ	●マーシャル諸島
●カナダ	●大韓民国	●バルバドス	●マリアナ諸島
●キューバ	●台湾	●フィジー	●マイクロネシア連邦
●グアテマラ	●チリ	●フィリピン	●ミャンマー
●グアム島		●プエルトリコ	●メキシコ
●グレナダ		●米領サモア	

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

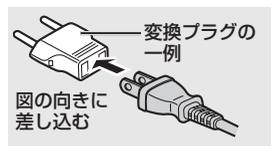
AC アダプターは、電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです

AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。



■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A, BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B, BF, B3, C, O	イタリア	C
ウクライナ	A, C	オーストリア	B, C, SE	オランダ	C, SE	カザフスタン	A, C
ギリシャ	B, C	スイス	B, BF, C, SE	スウェーデン	C	スペイン	A, C, SE
デンマーク	C	ドイツ	C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C, O, SE	ベラルーシ	A, C	ベルギー	C
ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	A, C
アジア							
インド	B, BF, C	インドネシア	A, B, BF, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	スリランカ	B, C
タイ	A, BF, C	大韓民国	A, BF, C, O, SE	台湾	A, O	中華人民共和国	A, B, BF, B3, C, O, SE
ネパール	B, BF, C	パキスタン	A, B, C	バングラデシュ	B, C	フィリピン	A, B, BF, C, O
ベトナム	A, C	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	A, B, C	マレーシア	B, BF, B3, C
モンゴル	B, BF, C						
オセアニア							
オーストラリア	O	グアム島	A	タヒチ	A, C	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A, C, O				
中南米							
アルゼンチン	A, BF, C, O	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B, C
ハイチ	A	パナマ	A, BF	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A, C, SE	ベネズエラ	A	ペルー	A, C	メキシコ	A, SE
中東							
イスラエル	BF, C, O	イラン	BF, C	クウェート	B, BF, C	ヨルダン	B, BF
アフリカ							
アルジェリア	A, BF, C	エジプト	B, BF, B3, C, SE	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B, BF, C	ザンビア	B, BF	タンザニア	B, BF	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C
モザンビーク	C	モロッコ	C, SE				

タイプ	形状	変換プラグ
A	アメリカン 	不要
B	U.K. タイプ 	
BF		
B3		
C	ヨーロッパ 	
SE		
O	オーストラリアン 	

記録フォーマット一覧

記録モード		フレームレート		
		60	30P	24P
PH	1080/60i	1080/60i	1080/30P (over 60i)	1080/24P (ネイティブ記録)
	720/60P	720/60P	720/30P (over 60P)	720/24P (ネイティブ記録)
HA	1080/60i	1080/60i	—	—
HG	1080/60i	1080/60i	—	—
HE	1080/60i	1080/60i	—	—

SD メモリーカード記録データの取り扱いについて

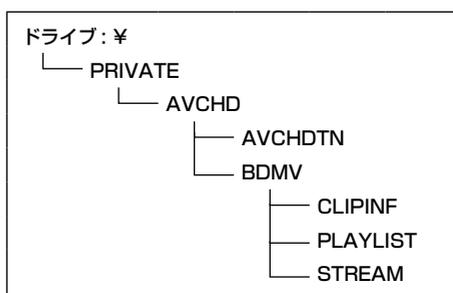
AVCHD フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダ構成にて関連付けられています。これらの情報が一部でも変更、または削除されると、AVCHD データとして認識できない、もしくはカードが AVCHD 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

SD メモリーカードのデータを PC に転送したり、PC に格納したデータを SD メモリーカードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用のソフトウェア AVCCAM ビューアーをお使いください。同梱の CD-ROM に添付されております。インストール方法は InstallJ.txt を参照してください。また詳しい使い方は、取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

下記サイトにおいてもダウンロードすることができます。

(対応 OS Windows XP/Windows Vista)

<http://panasonic.biz/sav/>



■ 本機のメタデータの取り扱いについて

本機のサポートしているメタデータは、AVCHD 規格の管理ファイル領域内のメーカー独自領域を使用しています。

本機のメタデータをサポートしていない編集ソフトやカメラレコーダーでのファイル削除、コピー、クリッププロテクトの付加、削除などの編集動作を行った場合、メタデータの独自領域が消去され、本機で付加したショットマークやインデックス、PH モードの情報などが失われます。

このような編集動作を行う前に、本機のメタデータをサポートしているかをご確認の上、作業してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は 3 年間無償修理特約の対象商品です。
お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 3 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記ウェブサイトをご覧ください。
日本語： http://panasonic.biz/sav/pass_j/
英語： http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HMC155
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合】

電源電圧 DC7.2 V(バッテリー使用時)/
7.3 V (ACアダプター使用時)

消費電力
録画時：9.8 W

は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～40℃

動作周囲湿度

10%～80% (結露なし)

質量

約 1.7 kg (バッテリーや付属品を除く)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

154 mm × 164 mm × 397 mm (突起部分
を除く)

【カメラ】

撮像素子

CCD 型固体撮像素子×3
(1/3 型、インターライン型、プログレッシブ
対応)

レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手ぶれ補正レンズ、
電動/マニュアル切り替え 13 倍ズーム、
F1.6～3.0 (f=3.9 mm～51 mm)
(35 mm 換算：28 mm～368 mm)

色分解光学系

プリズム方式

ND フィルター

1/4、1/16、1/64

ゲイン切り替え

0/+3/+6/+9/+12/+18 dB(60i/60P モード)
・1/15 (0 dB) (スローシャッターモード時)
0/+3/+6/+9/+12 dB (30P/24P モード)
・1/15 (0 dB) (スローシャッターモード時)

シャッタースピード

プリセット

60i/60P モード：

1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒

30P モード：

1/30、1/50 (OFF)、1/60、1/120、
1/250、1/500、1/1000 秒

24P モード：

1/24、1/50 (OFF)、1/60、1/120、
1/250、1/500、1/1000 秒

シンクロスキャン

60i/60P モード：1/60.0 秒～1/249.8 秒

30P モード：1/30.0 秒～1/249.8 秒

24P モード：1/24.0 秒～1/249.8 秒

スローシャッタースピード

60i/60P モード：1/15、1/30 秒

30P モード：1/15 秒

最低照度

3 lx (F:1.6、ゲイン+12dB、1/24 シャッター
時)

デジタルズーム

2 x/5 x/10 x (USER ボタンに割り当て倍率
トグル切り替え)

1080/60i、720/60P のみ動作

レンズフード

広視野大型レンズフード

フィルター径

72 mm

【記録/再生】

記録規格

AVCHD 規格準拠

圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264

記録メディア

SD メモリーカード：

512 MB、1 GB、2 GB

(FAT12、FAT16 形式に対応)

SDHC メモリーカード：

4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、

32 GB (FAT32 形式に対応)

シーンファイル、ユーザーファイルの記録と読
み込み、メタデータの読み込みには、8 MB～
32 GB の SD/SDHC メモリーカードが使用で
きます。

記録フォーマット (記録モード：解像度)

PH モード：

1080/60i

1080/30P (over 60i)

1080/24P (ネイティブ記録)

720/60P

720/30P (over 60P)

720/24P (ネイティブ記録)

HA モード：

1080/60i

HG モード：

1080/60i

HE モード：

1080/60i

転送レート

PH モード：約 21 Mbps (VBR)

HA モード：約 17 Mbps (VBR)

HG モード：約 13 Mbps (VBR)

HE モード：約 6 Mbps (VBR)

【映像方式】

ビデオ信号

1080/60i、720/60p

ビデオ出力

HDMI 出力

HDMI × 1

1080/60i、720/60p、480/60p

(ビエラリンク非対応)

アナログコンポーネント出力

ミニD端子 × 1

Y: 1.0 V [p-p]、75 Ω

P_B/P_R: 0.7 V [p-p]、75 Ω

コンポジット出力

ピンジャック × 1、

1.0 V [p-p]、75 Ω

【音声方式】

圧縮方式

記録/再生: Dolby Digital(Dolby AC3)/2 ch

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bit

圧縮後のビットレート

PHモード: 2 CH 384 kbps

HA/HG/HEモード: 2 CH 256 kbps

【オーディオ入出力】

XLR 入力

XLR (3ピン) × 2 (INPUT 1、INPUT 2)、

LINE/MIC 切り替え、ハイインピーダンス

LINE: 0 dBu

MIC: -50 dBu/-60 dBu (メニュー切り替え)

AUDIO 出力

ピンジャック × 2 (CH1、CH2)

出力: 316mV、600 Ω

内蔵マイク

ステレオマイクロホン

HDMI

2 ch (リニア PCM) ・ 5.1 ch (AC3)

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1

内蔵スピーカー

20 mm 丸形 × 1

【その他入出力】

USB

Type mini B コネクター (USB 2.0 準拠)

カメラリモート

スーパーミニジャック (2.5 mm 径) (ZOOM S/S)

ミニジャック (3.5 mm 径) (FOCUS、IRIS)

TC PRESET IN/OUT (VIDEO OUT 兼用)

IN: 1.0 V ~ 4.0 V [p-p] 10 k Ω

OUT: 2.0 V ± 0.5 V [p-p] ローインピーダンス

【モニター】

LCD

3.5 インチ、液晶カラーモニター (21 万画素)

ビューファインダー

0.44 インチ、液晶カラービューファインダー

(23.5 万画素)

【AC アダプター】

定格入力	100 V ~ 240 V AC、 50 Hz/60 Hz 32 VA (AC100 V 時) / 44 VA (AC240 V 時)
定格出力	7.3 V DC、1.75 A (ビデオカメラ) 8.4 V DC、1.3 A (充電時)

は安全項目です。

質量

140 g

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

103 mm × 36 mm × 62 mm

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄
方法をお問い合わせください。

